

4 主要商圏の構造

(1) 千葉商圏（商業中心都市）

ア 商圏の概要

千葉商圏は、県中央部分一帯を中心に形成されており、前回調査では13市9町1村であったが、4市町が加わり、1市が外れ、15市10町1村となった。新たに商圏に加わったのは、鴨川市、富津市、横芝光町及び君津市であり、それぞれ5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査と同様に千葉市のみで、吸引率は83.7%となっている。

第2次商圏は、前回調査時の4市3町に、第3次商圏から3市5町が加わって7市8町となった。（吸引率15.3%）

第3次商圏は、前回調査時の8市6町1村から3市5町が第2次商圏に移動し、1市が圏外へ出たものの、新たに3市1町が加わり、7市2町1村となった。（吸引率7.0%）

商圏人口は、前回調査時（2,313,127人）から4.2%増加して2,410,743人（千葉市の人口の約2.5倍・県人口の38.9%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（39.6%）から1.2ポイント増加して40.8%となった。

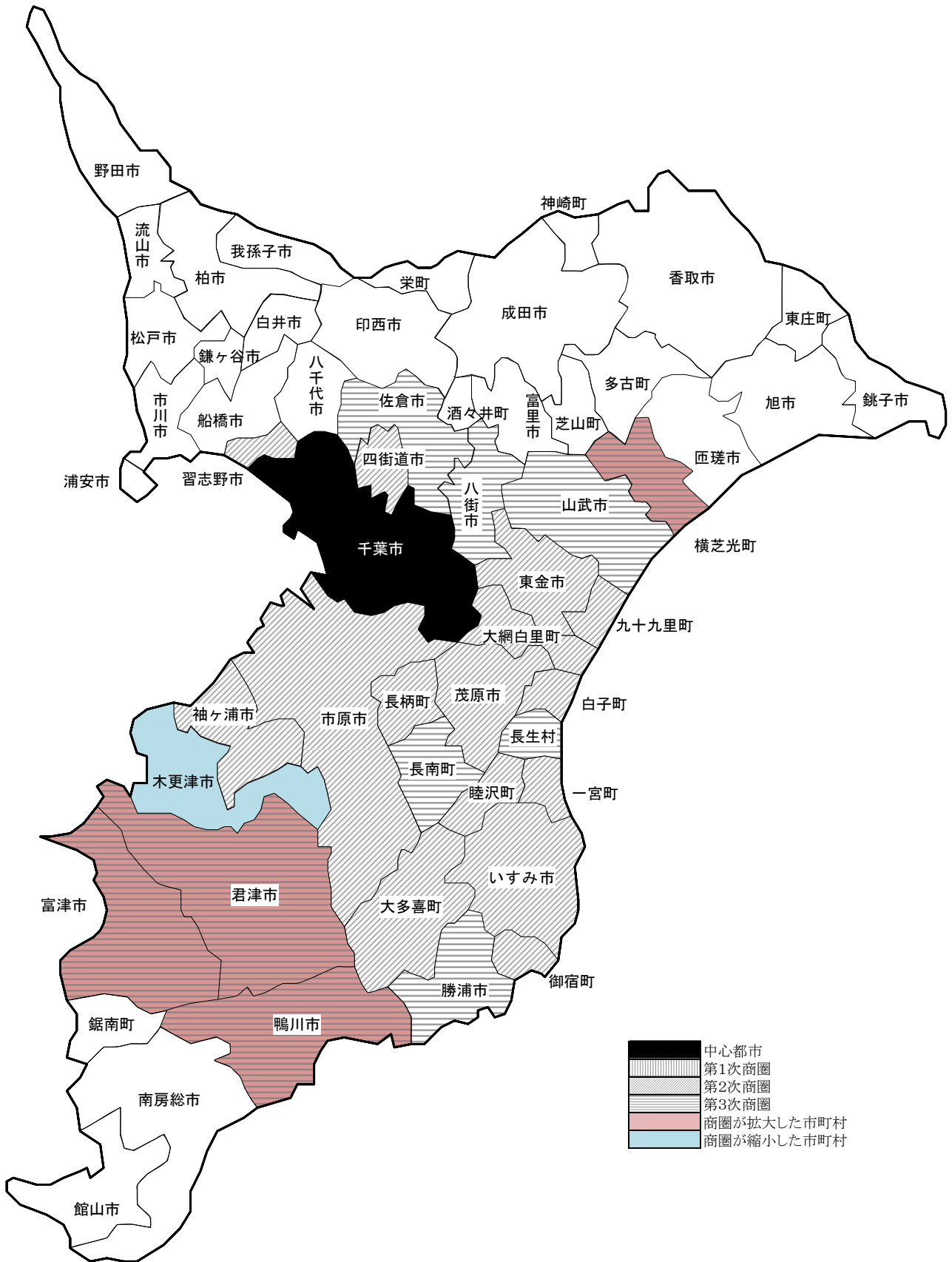
吸引人口は、前回調査時（915,490人）から、7.4%増加して983,082人（千葉市人口の102.1%）となった。

吸引力は、前回調査時（98.6%）から3.5ポイント増加して102.1%となった。

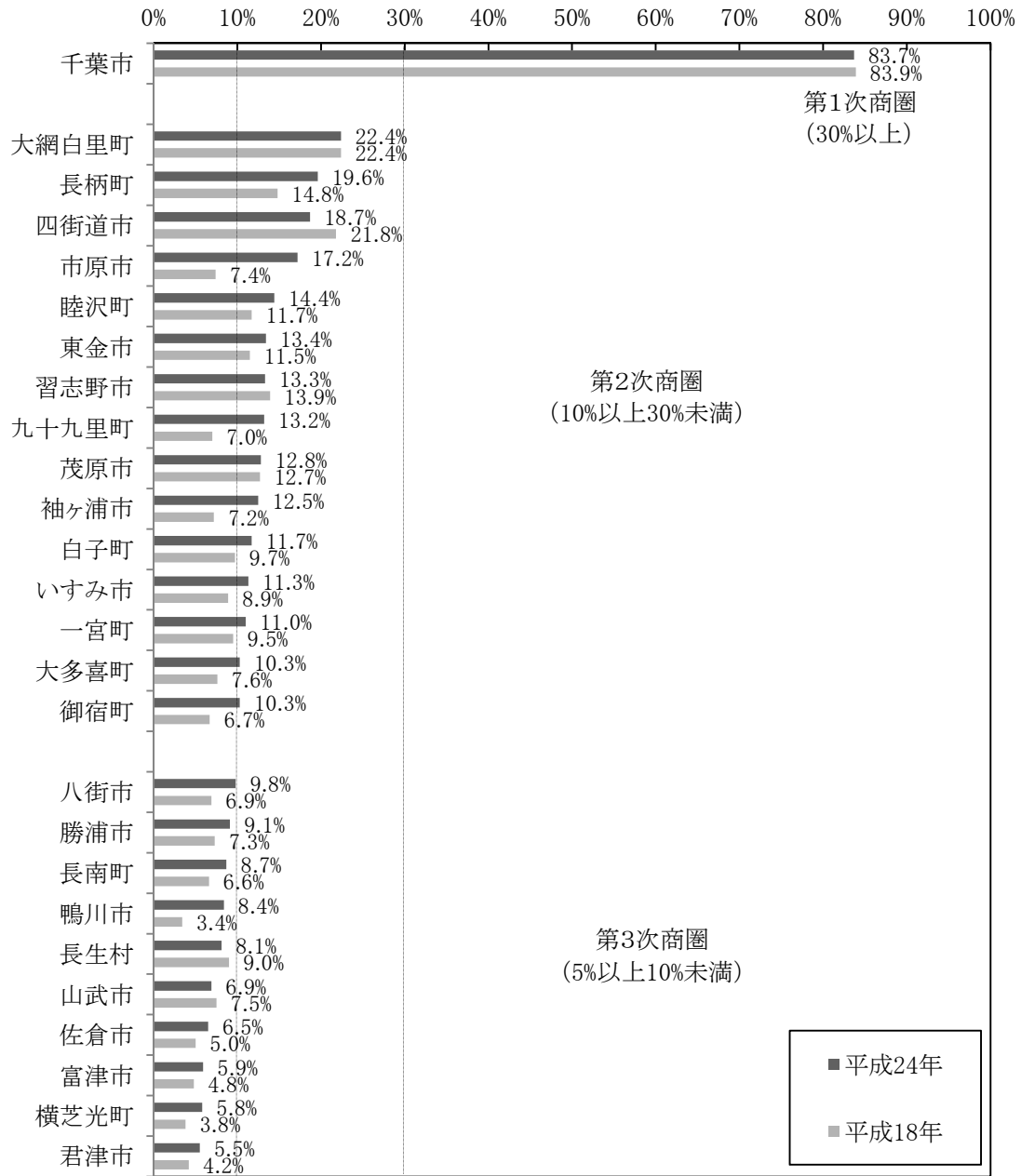
図表 37 千葉商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	83.7%	963,170	806,173	計	1	83.9%
	千葉市		83.7%	963,170	806,173	千葉市		83.9%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	15	15.3%	909,835	139,075	計	7	15.7%
	大網白里町		22.4%	50,045	11,210	大網白里町		22.4%
	長柄町		19.6%	7,832	1,535	四街道市		21.8%
	四街道市		18.7%	88,258	16,504	長柄町		14.8%
	市原市		17.2%	278,962	47,981	習志野市		13.9%
	睦沢町		14.4%	7,149	1,029	茂原市		12.7%
	東金市		13.4%	61,337	8,219	睦沢町		11.7%
	習志野市		13.3%	165,286	21,983	東金市		11.5%
	九十九里町		13.2%	17,362	2,292			
	茂原市		12.8%	91,255	11,681			
	袖ヶ浦市		12.5%	60,453	7,557			
	白子町		11.7%	11,798	1,380			
	いすみ市		11.3%	40,074	4,528			
	一宮町		11.0%	11,962	1,316			
	大多喜町		10.3%	10,402	1,071			
御宿町		10.3%	7,660	789				
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	10	7.0%	537,738	37,834	計	15	6.8%
	八街市		9.8%	72,176	7,073	白子町		9.7%
	勝浦市		9.1%	20,109	1,830	一宮町		9.5%
	長南町		8.7%	8,719	759	長生村		9.0%
	鴨川市		8.4%	35,079	2,947	いすみ市		8.9%
	長生村		8.1%	14,663	1,188	大多喜町		7.6%
	山武市		6.9%	54,826	3,783	山武市		7.5%
	佐倉市		6.5%	172,289	11,199	市原市		7.4%
	富津市		5.9%	47,209	2,785	勝浦市		7.3%
	横芝光町		5.8%	24,286	1,409	袖ヶ浦市		7.2%
	君津市		5.5%	88,382	4,861	九十九里町		7.0%
						八街市		6.9%
					御宿町		6.7%	
					長南町		6.6%	
					木更津市		5.3%	
					佐倉市		5.0%	
合計	26	40.8%	2,410,743	983,082	計	23	39.6%	

図表 38 千葉商圏（衣料品）



図表 39 千葉商圏の吸引状況（市町村別）



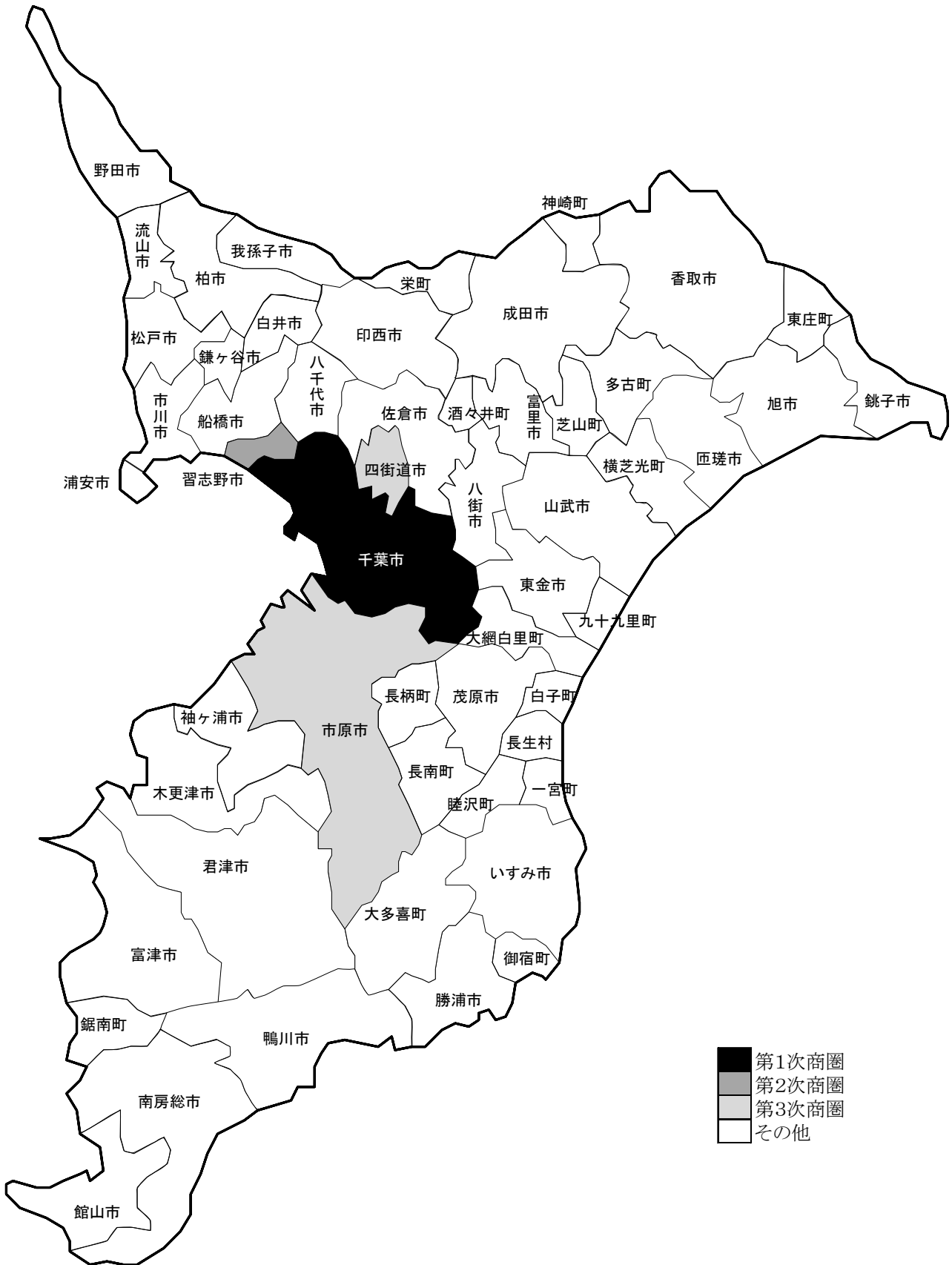
イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における千葉商圏内の市町村の変化を以下に示す。

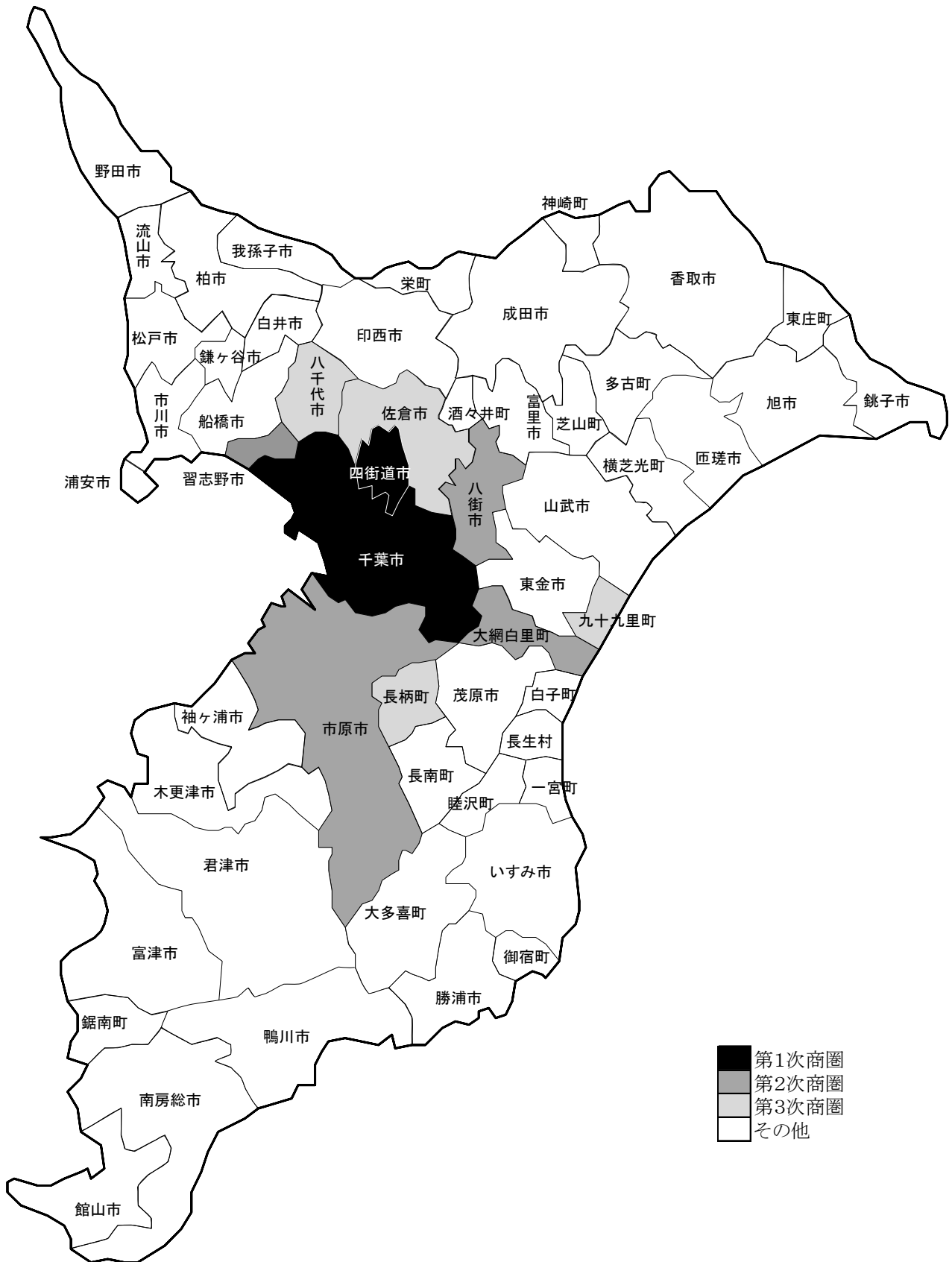
図表 40 千葉商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

	平成24年				平成18年				
	商圏 (基準吸引率)	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化		
								計	市町村
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	1	93.3%	計	1	92.3%		
			千葉市	93.3%		千葉市	92.3%		
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	10.9%	計	0			
			習志野市	10.9%					
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	5.4%	計	4	8.2%		
			四街道市	5.9%		習志野市	8.7%	第2次へ	
			市原市	5.3%	新規	四街道市	8.3%		
						大網白里町	7.0%	圏外へ	
						長柄町	6.2%	圏外へ	
		合計		4	62.2%		5	71.7%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計	2	87.3%	計	2	87.2%		
			千葉市	91.3%		千葉市	91.8%		
			四街道市	44.0%		四街道市	37.5%		
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	4	17.5%	計	3	24.3%		
			習志野市	26.0%		習志野市	27.0%		
			大網白里町	14.5%		大網白里町	17.4%		
			市原市	14.3%	第3次から	長柄町	13.8%	第3次へ	
			八街市	12.6%					
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	4	6.2%	計	2	5.7%		
			佐倉市	8.8%	新規	東金市	5.8%	圏外へ	
		九十九里町	5.9%	新規	市原市	5.7%	第2次へ		
		長柄町	5.7%	第2次から					
		八千代市	5.5%	新規					
	合計		10	62.4%		7	60.9%		
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	4	71.1%	計	3	84.4%		
			千葉市	84.3%		千葉市	89.3%		
			四街道市	55.3%		四街道市	57.4%		
			市原市	37.2%	第2次から	大網白里町	40.1%		
			大網白里町	34.2%					
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	18	17.2%	計	19	17.8%		
			長柄町	26.7%		茂原市	29.6%		
			袖ヶ浦市	22.3%		長柄町	25.7%		
			白子町	22.0%		東金市	24.4%		
			茂原市	21.8%		市原市	22.6%	第1次へ	
			東金市	20.8%		袖ヶ浦市	19.1%		
			睦沢町	18.8%		御宿町	15.1%		
			九十九里町	17.5%		酒々井町	14.9%		
			佐倉市	16.8%		木更津市	14.6%	第3次へ	
			一宮町	16.8%		長南町	14.3%		
			八街市	16.4%		いすみ市	14.0%		
			勝浦市	15.1%		勝浦市	13.4%		
			習志野市	14.3%		佐倉市	13.3%		
			いすみ市	13.8%		一宮町	13.2%		
			大多喜町	12.7%	第3次から	八街市	13.1%		
			御宿町	12.6%		九十九里町	12.9%		
			山武市	11.3%	第3次から	白子町	12.8%		
			長南町	10.8%		習志野市	12.7%		
			酒々井町	10.3%		睦沢町	12.5%		
						長生村	11.6%	第3次へ	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	8	8.5%	計	11	7.6%		
			君津市	9.8%		山武市	9.6%	第2次へ	
			木更津市	9.4%	第2次から	大多喜町	9.3%	第2次へ	
			長生村	8.7%	第2次から	横芝光町	8.6%		
			横芝光町	8.0%		君津市	8.4%		
			鴨川市	8.0%		富津市	7.1%		
			富津市	6.3%		鴨川市	7.1%		
			匝瑳市	6.1%		富里市	6.3%	圏外へ	
		総南町	5.9%	新規	八千代市	6.3%	圏外へ		
					匝瑳市	5.5%			
					芝山町	5.3%	圏外へ		
					神崎町	5.1%	圏外へ		
	合計		30	43.6%		33	41.2%		

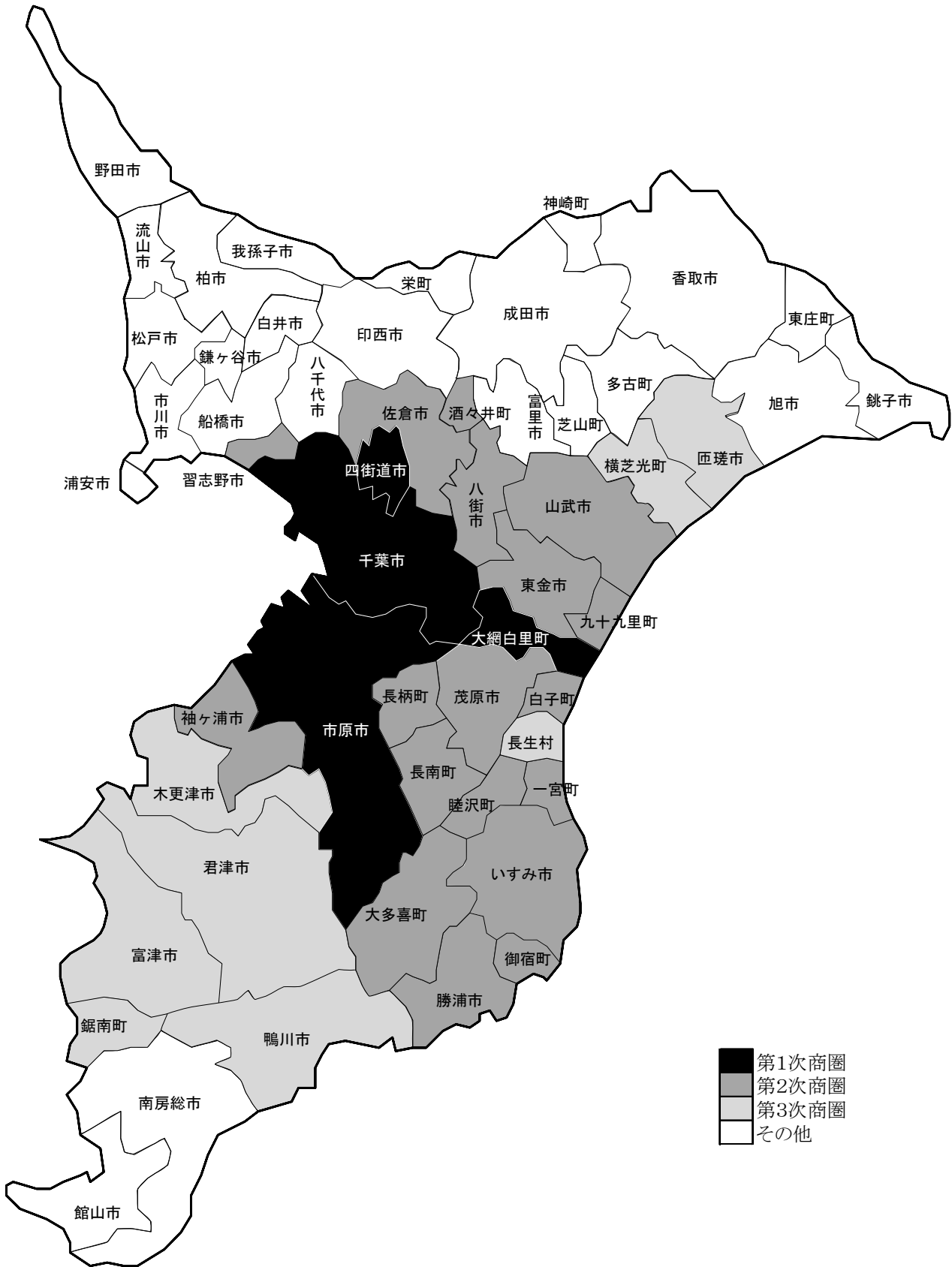
図表 41 千葉商圏（食料品）



図表 42 千葉商圏（飲食）



図表 43 千葉商圏（贈答品）



(2) 成田商圏（商業中心都市）

ア 商圏の概要

成田商圏は、印旛ブロックを中心に香取ブロック、海匝ブロック及び山武ブロック北部を取り込んだ県北東部に形成されており、前回調査では9市7町2村であったが、商圏に入っていなかった印西市が、印旛村及び本埜村と合併して第2次商圏に入ったため、市町村数としては1減少して10市7町となった。

第1次商圏は、前回調査時の2市5町1村のうち、1村(印旛村)が印西市と合併して1市になり、第2次商圏に移動したため、2市5町となった。(吸引率72.8%)

第2次商圏は、前回調査時の6市2町1村のうち、1村(本埜村)が印西市と合併して1市(印西市)となり、さらに1市が第3次商圏から入り、1市が第3次商圏へ移動したため、7市2町となった。(吸引率17.5%)

第3次商圏は、前回調査では1市であったが、1市が第2次商圏から入り、1市が第2次商圏に移動したため、数としては変わらず1市となった。(吸引率6.4%)

商圏人口は、前回調査時(892,487人)から5.0%増加して937,210人(成田市人口の約7.2倍・県人口の15.1%)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(30.5%)から1.1ポイント増加して31.6%となった。

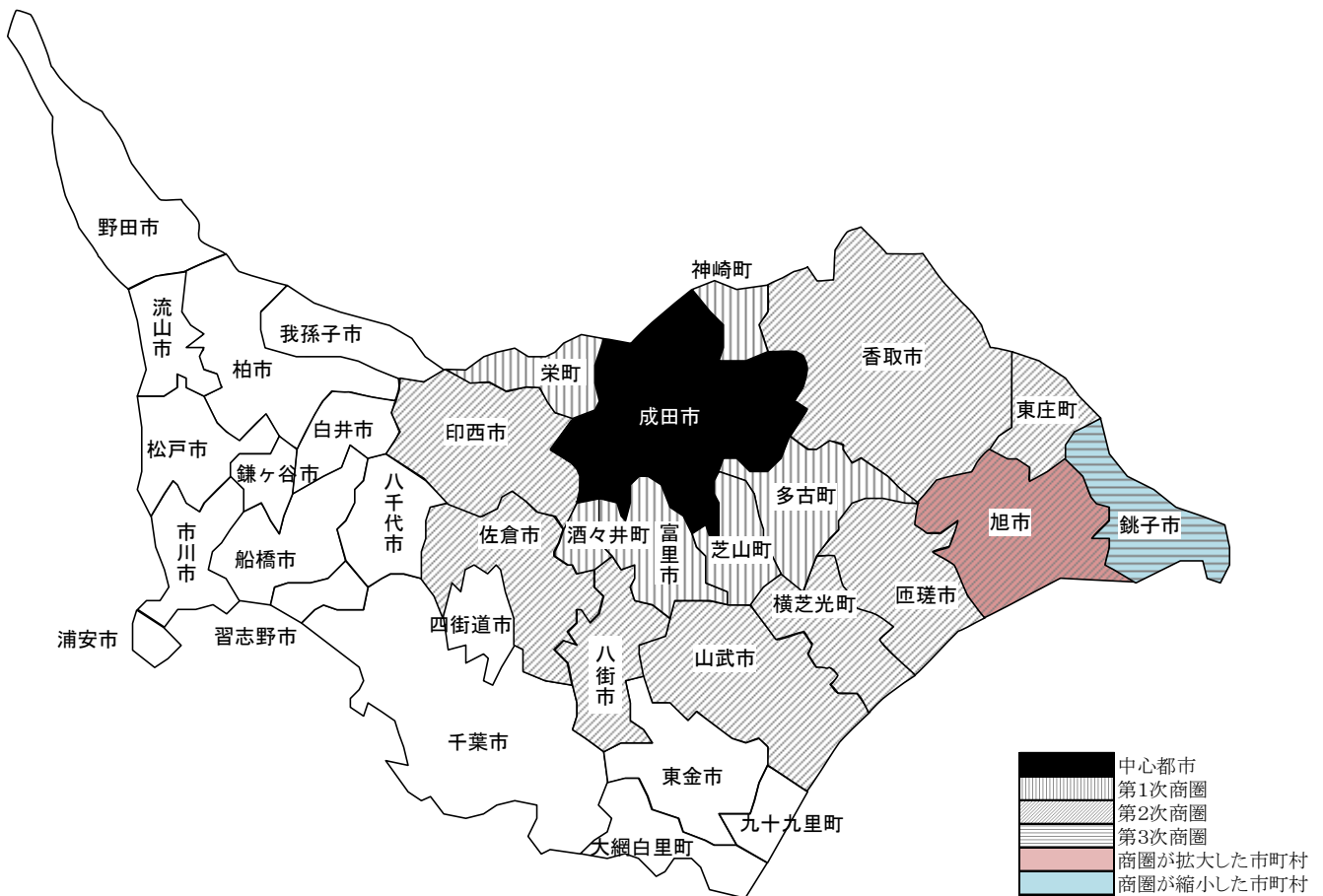
吸引人口は、前回調査時(272,359人)から8.6%増加して295,902人(成田市人口の約2.3倍)となった。

吸引力は、前回調査時(221.8%)から6.2ポイント増加して228.0%となった。

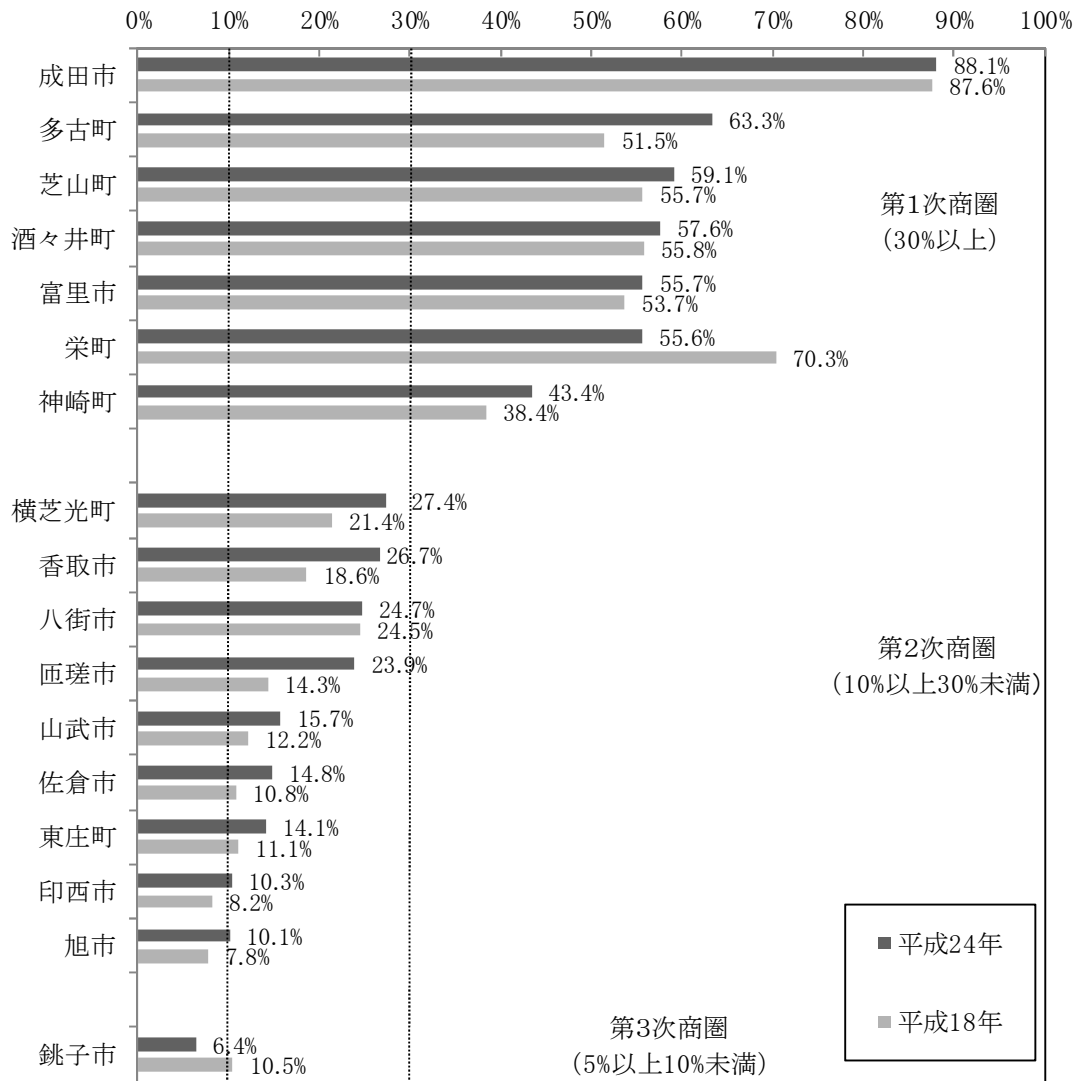
図表 44 成田商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年				前回調査からの 区分の変化	平成18年				
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化		
第1次商圏 (30%以上)	計	7	72.8%	252,533	183,745		計	8	69.9%	
	成田市		88.1%	129,780	114,336		成田市		87.6%	
	多古町		63.3%	15,531	9,831		栄町		70.3%	
	芝山町		59.1%	7,693	4,547		酒々井町		55.8%	
	酒々井町		57.6%	21,157	12,186		芝山町		55.7%	
	富里市		55.7%	50,136	27,926		多古町		54.3%	
	栄町		55.6%	21,841	12,144		富里市		53.7%	
	神崎町		43.4%	6,395	2,775		神崎町		38.4%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	9	17.5%	616,802	107,813		計	9	14.8%	※現・印西市
	横芝光町		27.4%	24,286	6,654		八街市		24.5%	
	香取市		26.7%	80,979	21,621		横芝光町		21.4%	
	八街市		24.7%	72,176	17,827		香取市		18.6%	
	匝瑳市		23.9%	39,090	9,343		匝瑳市		14.3%	
	山武市		15.7%	54,826	8,608		本埜村		12.4%	※現・印西市
	佐倉市		14.8%	172,289	25,499		山武市		12.2%	
	東庄町		14.1%	14,803	2,087		東庄町		11.1%	
	印西市		10.3%	90,175	9,288		佐倉市		10.8%	
	旭市		10.1%	68,178	6,886	第3次から	銚子市		10.5%	第3次へ
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	6.4%	67,875	4,344		計	1	7.8%	
	銚子市		6.4%	67,875	4,344	第2次から	旭市		7.8%	第2次へ
合計		17	31.6%	937,210	295,902			18	39.6%	

図表 45 成田商圏（衣料品）



図表 46 成田商圏の吸引状況（市町村別）



(注) 印西市(平成18年)は、旧・印西市、印旛村、本埜村から算出。

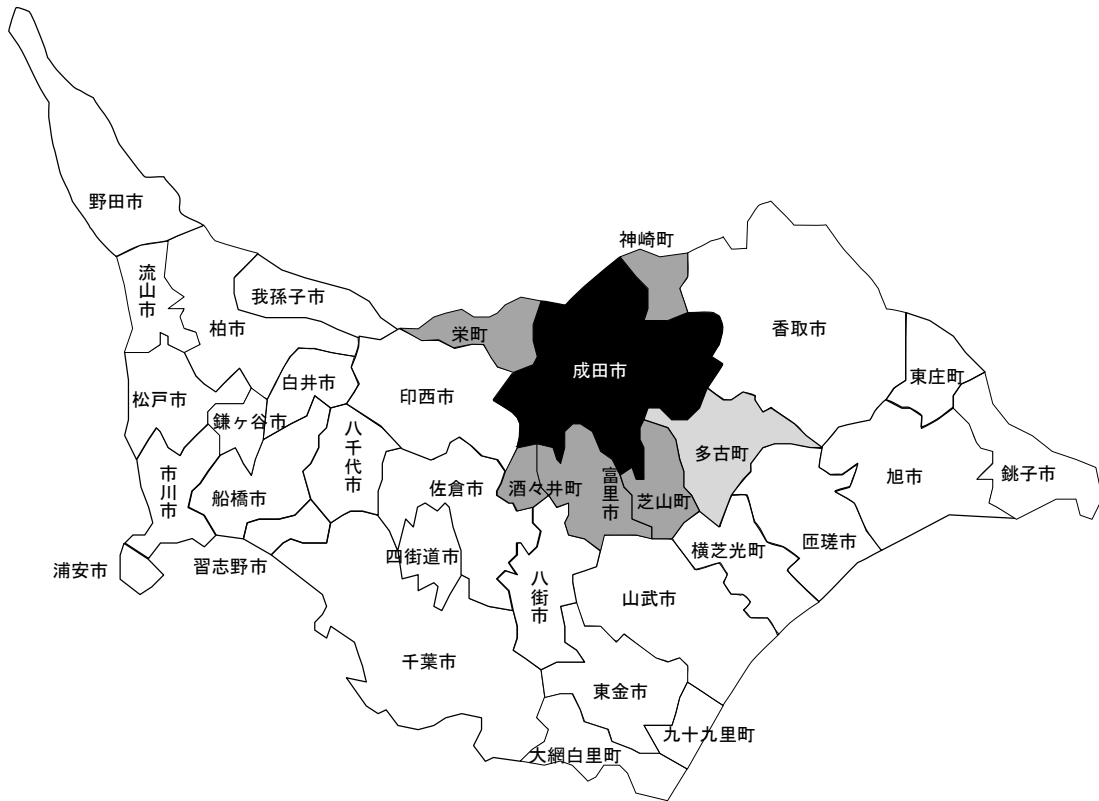
イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における成田商圏内の市町村の変化を以下に示す。

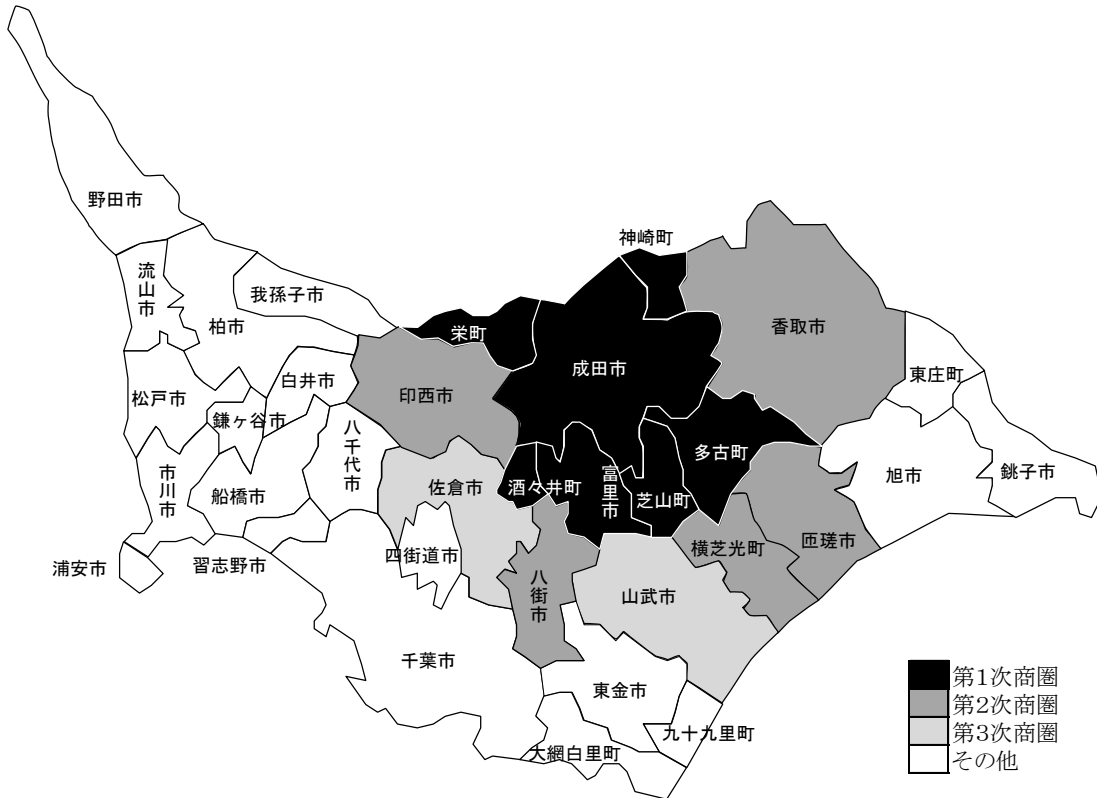
図表 47 成田商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	1 90.5%		計	1 87.8%
		成田市	90.5%		成田市	87.8%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	5 14.6%		計	6 13.6%
		栄町	18.0%		栄町	22.7%
		富里市	14.3%		芝山町	14.4%
		神崎町	13.5%		神崎町	13.1%
		酒々井町	13.2%		多古町	13.1%
		芝山町	12.3%		酒々井町	12.2%
					富里市	10.1%
		富里市				
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1 9.5%		計	1 7.8%	
	多古町	9.5%	第2次から	印旛村	7.8%	
合計		7 53.3%			8 47.8%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計	7 79.7%		計	8 75.5%
		成田市	95.2%		成田市	95.1%
		栄町	74.2%		栄町	84.4%
		多古町	68.8%		酒々井町	67.7%
		芝山町	65.4%		神崎町	59.2%
		神崎町	64.4%		多古町	55.2%
		酒々井町	64.1%		芝山町	52.7%
		富里市	55.9%		富里市	50.6%
					印旛村	32.8%
		印旛村				
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	5 17.5%		計	4 18.2%	
	八街市	23.8%	第3次から	八街市	20.5%	
	横芝光町	19.0%		香取市	19.4%	
	香取市	18.3%		匝瑳市	12.9%	
	印西市	13.8%	※合併	本埜村	12.5%	
	匝瑳市	11.6%				
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2 8.1%		計	4 7.2%	
	山武市	8.9%		横芝光町	9.4%	
	佐倉市	7.8%		山武市	7.2%	
				佐倉市	6.9%	
				東庄町	6.1%	
合計		14 35.8%			16 34.4%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	7 77.9%		計	8 76.5%
		成田市	87.3%		成田市	92.2%
		芝山町	84.4%		栄町	75.4%
		栄町	69.2%		酒々井町	69.5%
		神崎町	69.0%		芝山町	62.7%
		酒々井町	68.1%		多古町	62.4%
		富里市	66.0%		富里市	61.7%
		多古町	64.1%		神崎町	51.7%
					印旛村	40.2%
		印旛村				
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	7 18.7%		計	6 23.6%	
	香取市	29.7%		本埜村	27.1%	
	横芝光町	26.3%		八街市	26.9%	
	匝瑳市	25.5%		香取市	26.8%	
	八街市	24.7%		横芝光町	25.7%	
	佐倉市	13.9%	第3次から	山武市	17.7%	
	山武市	12.5%		匝瑳市	17.4%	
	印西市	12.1%	※合併			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2 8.3%		計	4 8.8%	
	旭市	8.4%		佐倉市	9.5%	
	東庄町	7.7%		銚子市	8.8%	
				東庄町	7.7%	
				旭市	7.3%	
合計		16 34.9%			18 33.8%	

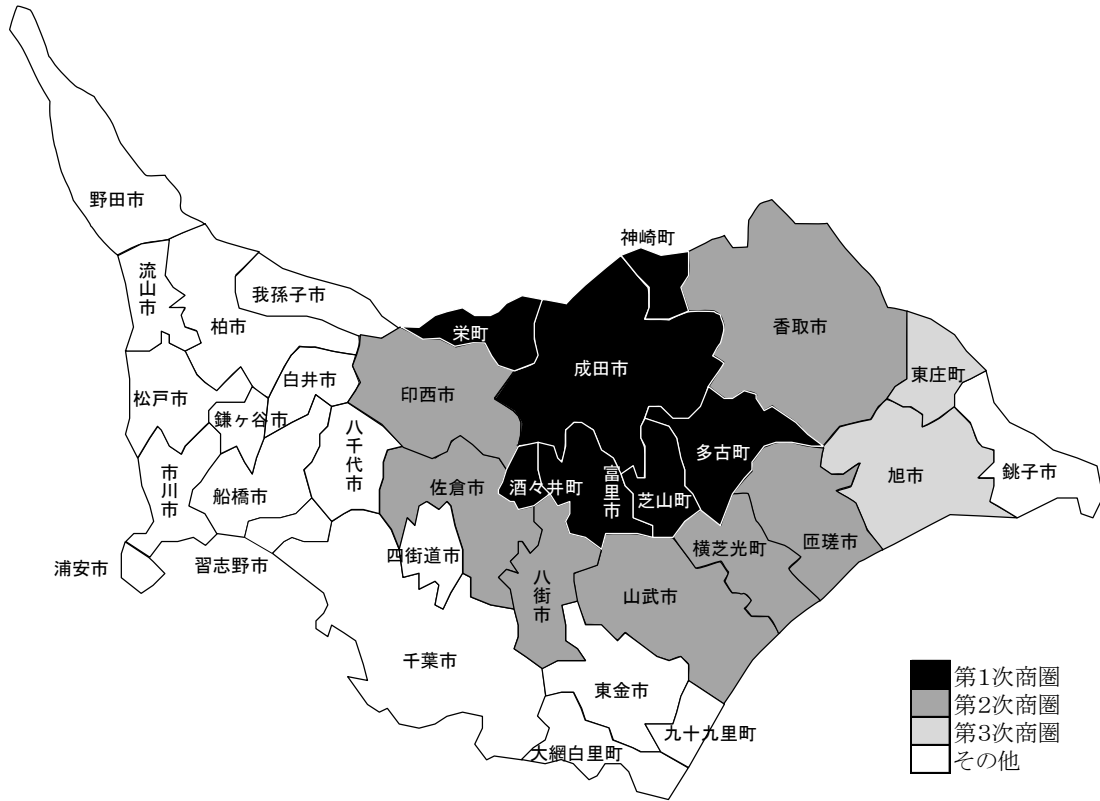
図表 48 成田商圏（食料品）



図表 49 成田商圏（飲食）



図表 50 成田商圏（贈答品）



(3) 船橋商圏（商業中心都市）

ア 商圏の概要

船橋商圏は、葛南ブロックを中心に千葉ブロック北部、東葛ブロック南部及び印旛ブロック西部を取り込んで形成されており、前回調査では5市であったが、2市が加わって7市となった。新たに商圏に加わったのは、浦安市及び八千代市であり、それぞれ5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査時の2市から1市が第2次商圏に移動したため、船橋市1市となった。（吸引率82.8%）

第2次商圏は、前回調査では2市であったが、1市が第1次商圏から加わったため、3市となった。（吸引率17.7%）

第3次商圏は、前回調査では1市であったが、圏外から新たに2市が加わり3市となった。（吸引率5.5%）

商圏人口は、前回調査時（1,359,437人）から、30.2%増加して1,769,317人（船橋市人口の約2.9倍・県人口の28.5%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（42.9%）から5.5ポイント減少して37.4%となった。

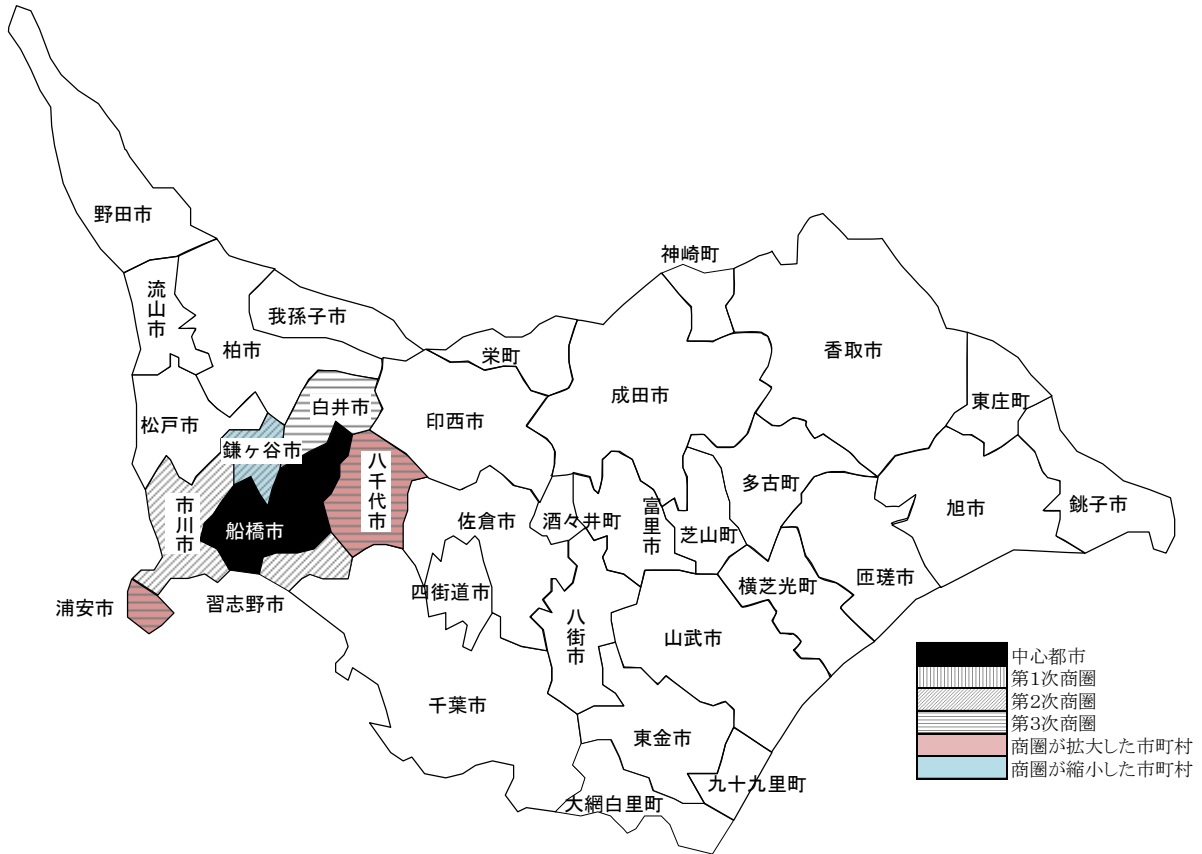
吸引人口は、前回調査時（583,059人）から13.4%増加して660,907人（船橋市人口の約1.1倍）となった。

吸引力は、前回調査時（101.4%）から6.6ポイント増加して、108.0%となった。

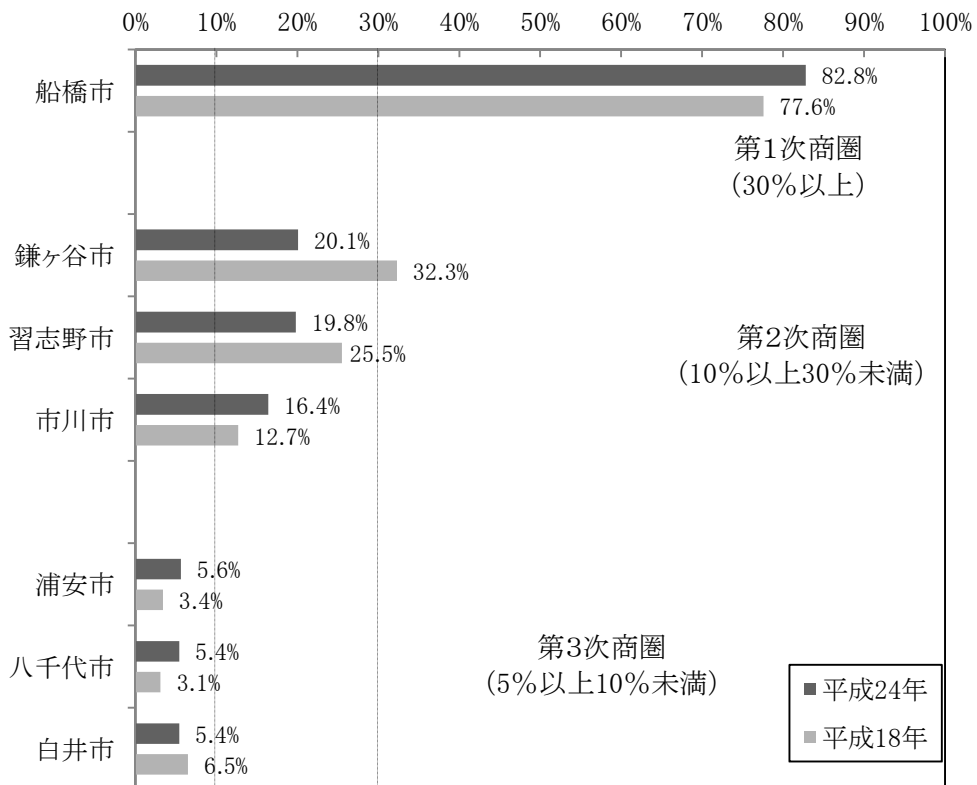
図表 51 船橋商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年				
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化		
第1次商圏 (30%以上)	計	1	82.8%	611,848	506,610		計	2	70.7%	
	船橋市		82.8%	611,848	506,610		船橋市		77.6%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	3	17.7%	743,803	131,633		計	2	15.9%	
	鎌ヶ谷市		20.1%	108,898	21,888	第1次から	習志野市		25.5%	第2次へ
	習志野市		19.8%	165,286	32,727		市川市		12.7%	
	市川市		16.4%	469,619	77,018					
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	3	5.5%	413,666	22,664		計	1	6.5%	
	浦安市		5.6%	162,964	9,126	新規	白井市		6.5%	
	八千代市		5.4%	189,698	10,244	新規				
	白井市		5.4%	61,004	3,294					
合計		7	37.4%	1,769,317	660,907			5	42.9%	

図表 52 船橋商圏（衣料品）



図表 53 船橋商圏の吸引状況（市町村別）



イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における船橋商圏内の市町村の変化を以下に示す。

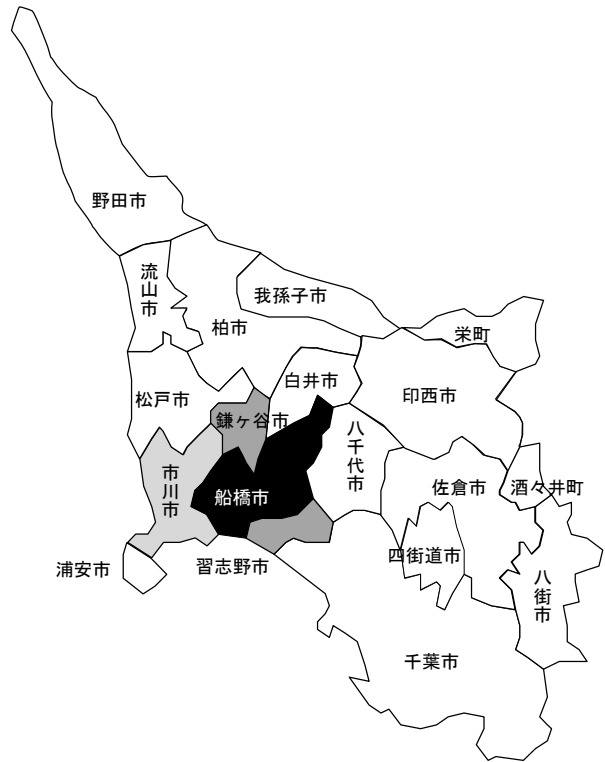
図表 54 船橋商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

	商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年					
		市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化			
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	1	93.2%		計	1	88.5%		
			船橋市	93.2%			船橋市	88.5%		
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0			計	1	10.0%		
							習志野市	10.0%	圏外へ	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	8.8%		計	1	6.4%		
			鎌ヶ谷市	8.8%			鎌ヶ谷市	6.4%		
	合計		2	80.4%			3	63.5%		
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計	1	88.7%		計	1	83.4%		
			船橋市	88.7%			船橋市	83.4%		
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	14.6%		計	2	15.8%		
				習志野市	15.0%			習志野市	17.6%	
				鎌ヶ谷市	14.0%			鎌ヶ谷市	13.1%	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	6.7%		計	0				
			市川市	6.7%	新規					
	合計		5	45.3%			3	62.2%		
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	3	66.5%		計	3	73.9%		
			船橋市	79.7%			船橋市	82.0%		
			鎌ヶ谷市	41.9%			鎌ヶ谷市	57.0%		
			習志野市	34.0%			習志野市	55.5%		
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	3	16.5%		計	3	23.4%		
				市川市	17.9%			市川市	27.2%	
				白井市	17.2%			白井市	17.6%	
				八千代市	12.8%			八千代市	15.5%	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	5.8%		計	4	7.4%		
				佐倉市	5.8%			浦安市	7.7%	圏外へ
							佐倉市	7.4%		
							本埜村	6.0%	※現・印西市	
							印旛村	5.3%	※現・印西市	
	合計		7	40.4%			10	42.8%		

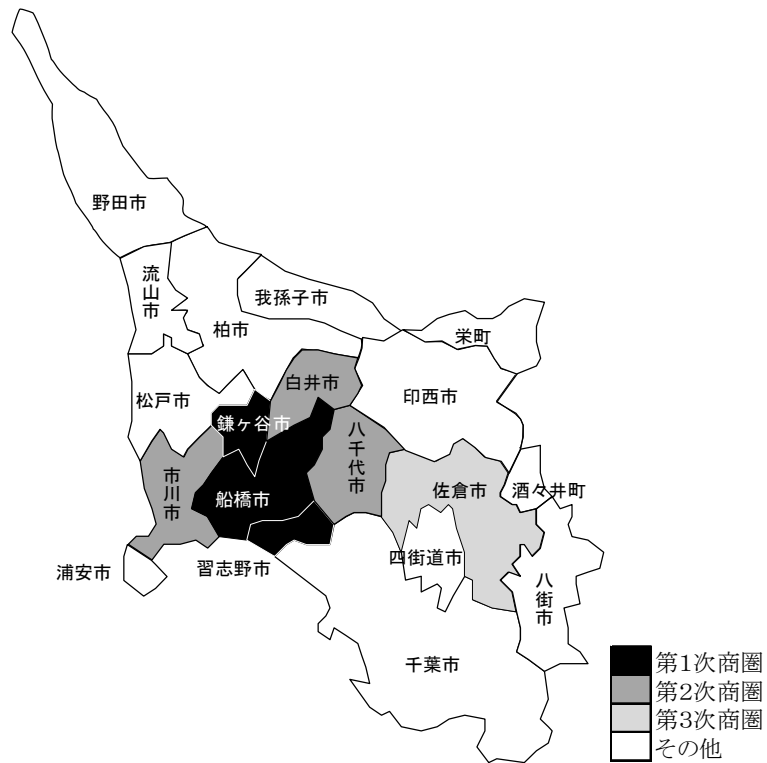
図表 55 船橋商圏（食料品）



図表 56 船橋商圏（飲食）



図表 57 船橋商圏（贈答品）



(4) 茂原商圏（商業中心都市）

ア 商圏の概要

茂原商圏は、長生ブロックと夷隅ブロック一帯の県南東部に形成しており、前回調査では3市8町1村であったが、1町が外れ、3市7町1村となった。

第1次商圏は、前回調査時と変わらず2市6町1村となった。（吸引率61.1%）

第2次商圏は、前回調査時と変わらず1市1町となった。（吸引率25.9%）

第3次商圏は、前回調査時の1町が圏外へ外れたため、該当する市町村はなくなった。

商圏人口は、前回調査時（290,842人）から、20.4%減少して231,623人（茂原市人口の約2.5倍・県人口の3.7%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（48.9%）から8.0ポイント増加して56.9%となった。

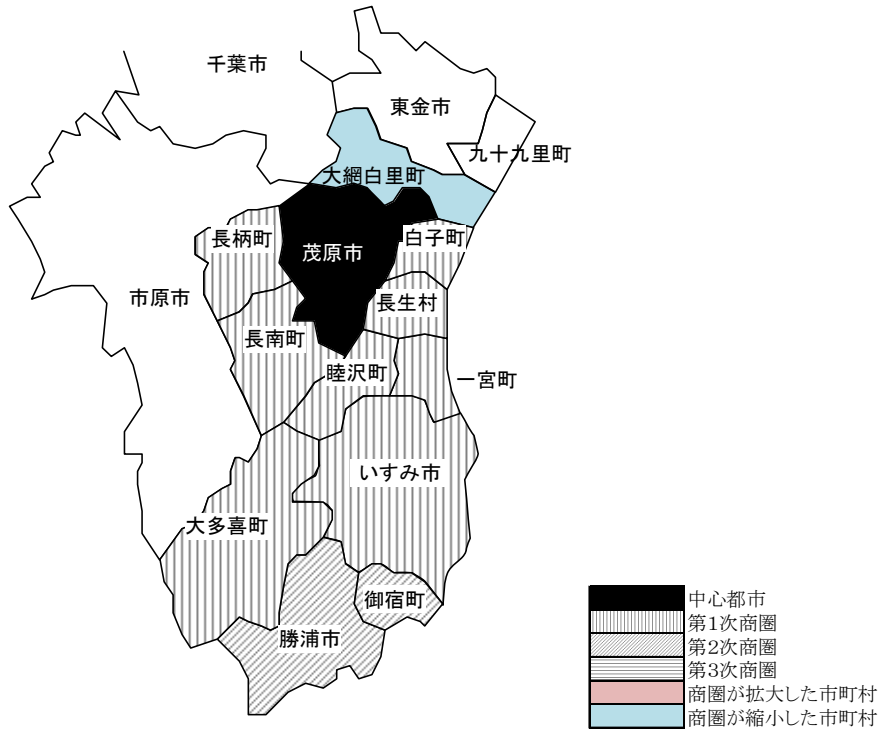
吸引人口は、前回調査時（142,313人）から7.4%減少して131,842人（茂原市人口の約1.4倍）となった。

吸引力は、前回調査時（153.0%）から8.5ポイント減少して144.5%となった。

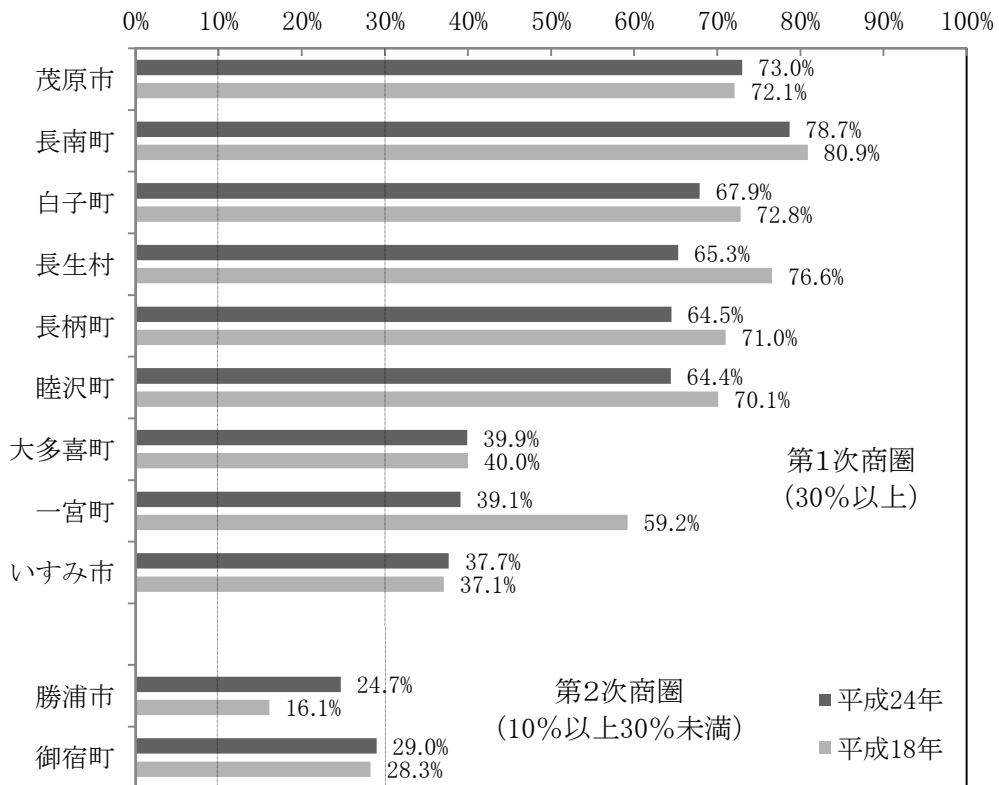
図表 58 茂原商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	9	61.1%	203,854	124,655	計	9	63.3%
	茂原市		73.0%	91,255	66,616	茂原市		72.1%
	長南町		78.7%	8,719	6,862	一宮町		59.2%
	白子町		67.9%	11,798	8,011	睦沢町		70.1%
	長生村		65.3%	14,663	9,575	長生村		76.6%
	長柄町		64.5%	7,832	5,052	白子町		72.8%
	睦沢町		64.4%	7,149	4,604	長柄町		71.0%
	大多喜町		39.9%	10,402	4,150	長南町		80.9%
	一宮町		39.1%	11,962	4,677	いすみ市		37.1%
	いすみ市		37.7%	40,074	15,108	大多喜町		40.0%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	25.9%	27,769	7,188	計	2	19.4%
	御宿町		29.0%	7,660	2,221	勝浦市		16.1%
	勝浦市		24.7%	20,109	4,967	御宿町		28.3%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0	-	0	0	計	1	5.4%
						大網白里町		5.4%
合計		11	56.9%	231,623	131,842		12	48.9%

図表 59 茂原商圏（衣料品）



図表 60 茂原商圏の吸引状況（市町村別）



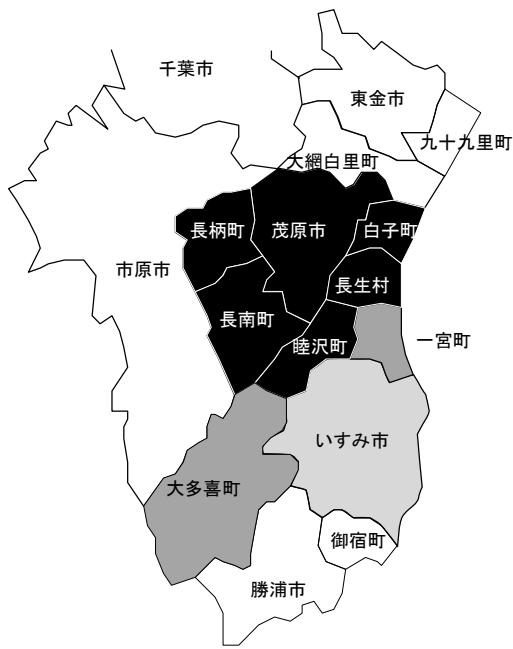
イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における茂原商圏内の市町村の変化を以下に示す。

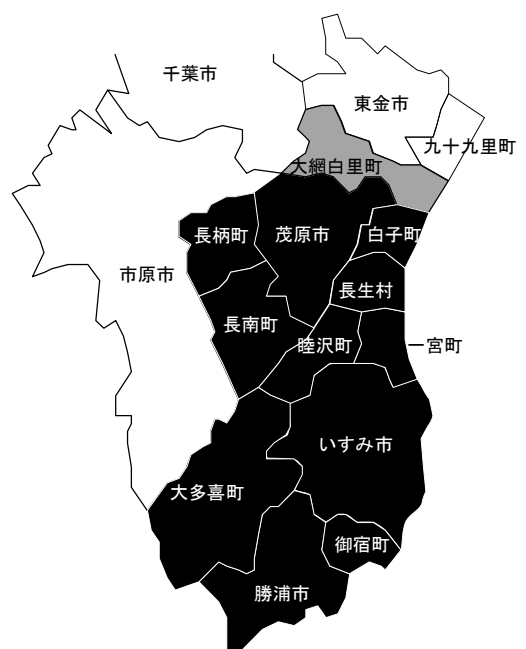
図表 61 茂原商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年			
	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	6	82.9%	計	5	81.9%
		茂原市		92.8%	茂原市		92.5%
		長南町		84.0%	長南町		76.0%
		長柄町		79.0%	長柄町		73.0%
		長生村		63.8%	長生村		60.3%
		白子町		54.7%	白子町		39.8%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	14.2%	計	2	15.0%
		一宮町		15.5%	睦沢町		19.4%
		大多喜町		12.7%	一宮町		12.1%
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	5.8%	計	2	7.8%
いすみ市			5.8%	大多喜町		8.3%	
御宿町			御宿町		7.2%		
合計		9	60.2%		9	66.5%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計	11	78.5%	計	10	76.7%
		茂原市		91.7%	茂原市		88.2%
		長南町		97.6%	長生村		93.1%
		長生村		93.9%	長南町		91.8%
		白子町		93.5%	睦沢町		91.5%
		睦沢町		92.0%	白子町		88.8%
		一宮町		85.8%	一宮町		82.8%
		長柄町		81.6%	長柄町		75.9%
		大多喜町		79.0%	大多喜町		65.2%
		いすみ市		58.2%	いすみ市		57.4%
		御宿町		41.6%	御宿町		34.8%
	勝浦市		34.6%				
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	19.8%	計	2	18.2%
		大網白里町		19.8%	勝浦市		20.5%
	大網白里町			大網白里町		17.9%	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0		計	1	5.2%
					市原市		5.2%
	合計		12	68.1%		13	36.3%
	贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	8	58.0%	計	9
茂原市				65.6%	茂原市		61.4%
長南町				80.7%	長生村		82.1%
長生村				77.9%	長南町		78.2%
白子町				57.0%	睦沢町		77.5%
長柄町				57.0%	長柄町		63.7%
睦沢町				54.2%	白子町		58.5%
一宮町				41.6%	一宮町		56.0%
いすみ市				34.5%	いすみ市		40.1%
御宿町					御宿町		30.2%
第2次商圏 (10%以上30%未満)			計	3	24.6%	計	2
		大多喜町		29.6%	大多喜町		27.8%
		御宿町		24.1%	勝浦市		11.8%
		勝浦市		22.2%			
第3次商圏 (5%以上10%未満)		計	0		計	1	6.6%
					大網白里町		6.6%
合計			11	52.5%		12	44.8%

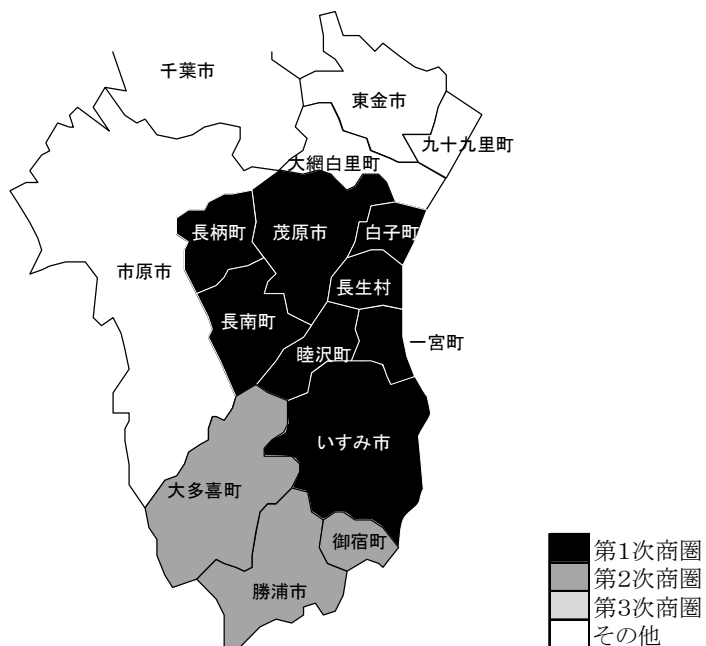
図表 62 茂原商圏（食料品）



図表 63 茂原商圏（飲食）



図表 64 茂原商圏（贈答品）



(5) 館山商圏（商業中心都市）

ア 商圏の概要

館山商圏は、安房ブロッカー帯の県の南端を中心に形成されており、前回調査では2市1町であったが、1市が加わり、3市1町となった。新たに商圏に加わったのは、鴨川市であり、10%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査時と変わらず2市1町となった。（吸引率 81.4%）

第2次商圏は、前回調査では該当する市町村がなかったが、1市が圏外から新たに入った。（吸引率 16.0%）

第3次商圏は、前回調査と同様に該当する市町村はない。

商圏人口は、前回調査時（104,029人）から28.3%増加して133,514人（館山市人口の約2.7倍・県人口の2.2%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（80.9%）から16.6ポイント減少して64.3%となった。

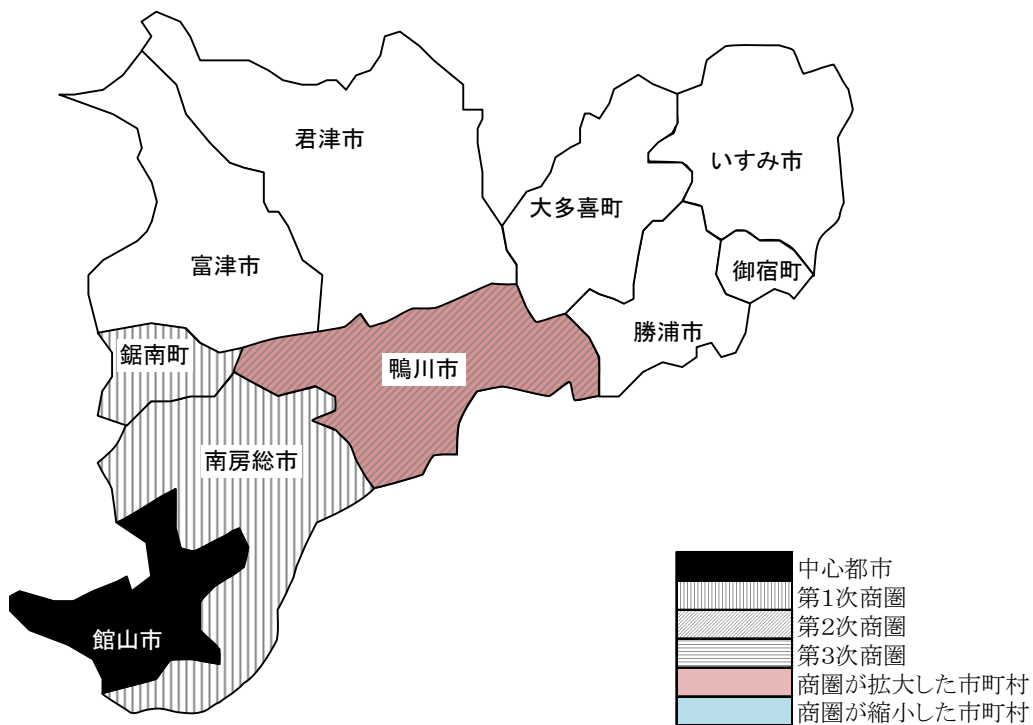
吸引人口は、前回調査時（84,120人）から2.0%増加して85,788人（館山市人口の約1.8倍）となった。

吸引力は、前回調査時（167.3%）から8.7ポイント増加して176.0%となった。

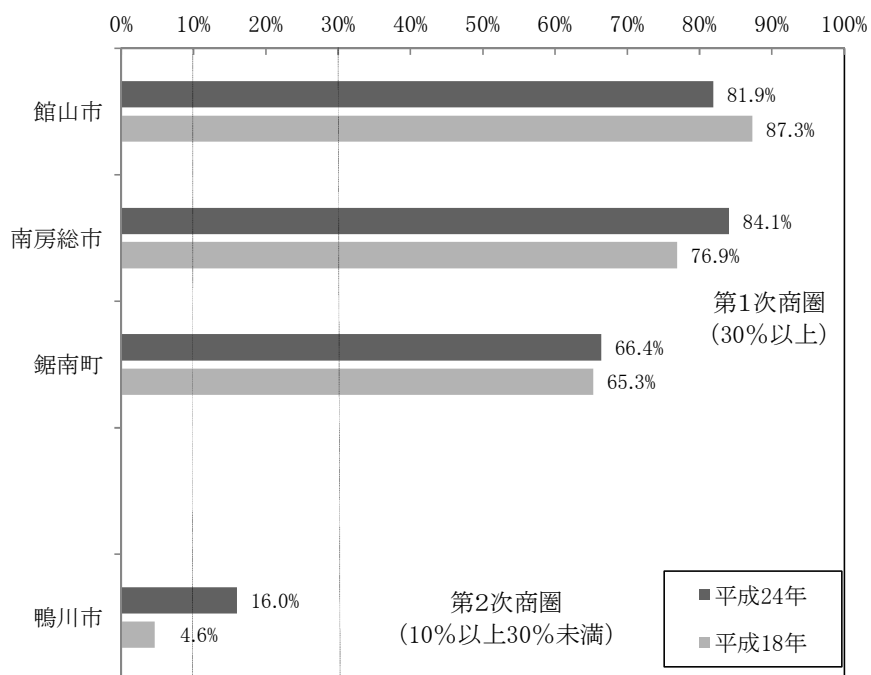
図表 65 館山商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	3	81.4%	98,435	80,175	計	3	80.9%
	館山市		81.9%	48,747	39,924	館山市		87.3%
	南房総市		84.1%	41,007	34,487	南房総市		76.9%
	鋸南町		66.4%	8,681	5,764	鋸南町		65.3%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	16.0%	35,079	5,613	計	0	
	鴨川市		16.0%	35,079	5,613			新規
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0		0	0	計	0	
合計		4	64.3%	133,514	85,788		3	80.9%

図表 66 館山商圏（衣料品）



図表 67 館山商圏の吸引状況（市町村別）



イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における館山商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 68 館山商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 2	79.8%		計 2	72.5%
		館山市	97.8%		館山市	97.9%
		南房総市	58.4%		南房総市	43.6%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	23.6%		計 0	
		鋸南町	23.6%	第3次から		
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1	9.4%	
				鋸南町	9.4%	第2次へ
合計	3	74.8%		3	66.7%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 3	90.0%		計 3	85.2%
		館山市	92.6%		館山市	95.2%
		南房総市	89.9%		南房総市	80.3%
		鋸南町	76.2%		鋸南町	55.6%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	10.2%		計 0	
	鴨川市	10.2%	新規			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 0		
合計	4	69.1%		3	85.2%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 3	77.7%		計 3	78.7%
		館山市	82.7%		館山市	87.3%
		南房総市	76.1%		南房総市	74.6%
		鋸南町	56.9%		鋸南町	52.6%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 0			計 0	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	6.8%		計 0		
	鴨川市	6.8%	新規			
合計	4	59.1%		3	78.7%	

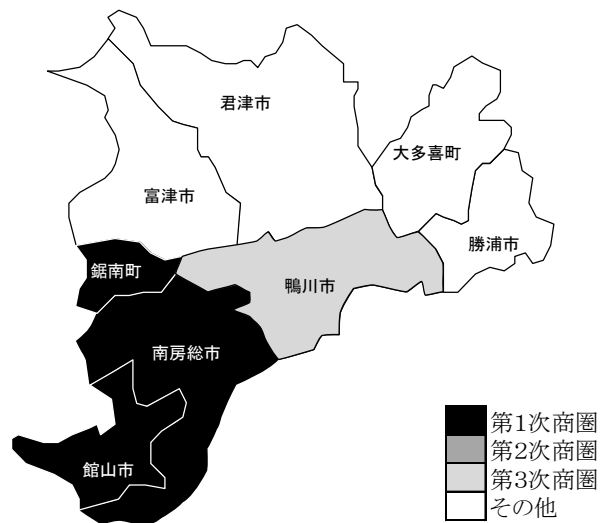
図表 69 館山商圏（食料品）



図表 70 館山商圏（飲食）



図表 71 館山商圏（贈答品）



(6) 市原商圏（準商業中心都市）

ア 商圏の概要

市原商圏は、千葉ブロック南部を中心に君津ブロック北部、長生ブロック西部、夷隅ブロック西部を取り込んだ県中央部に形成されており、前回調査時の2市2町から1町が圏外に外れたものの、1市1町が新たに加わり、3市2町となった。新たに商圏に加わったのは大多喜町及び勝浦市で、それぞれ5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査と同様に市原市のみで、吸引率は72.8%となっている。

第2次商圏は、前回調査と同様に1町となった。（吸引率12.6%）

第3次商圏は、前回調査時の1市1町のうち、1町が圏外へ外れ、1市1町が新たに圏外から入ったため、2市1町となった。（吸引率7.3%）

商圏人口は、前回調査時（357,183人）から5.8%増加して377,758人（市原市人口の約1.4倍）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（65.8%）から10.0ポイント減少して55.8%となった。

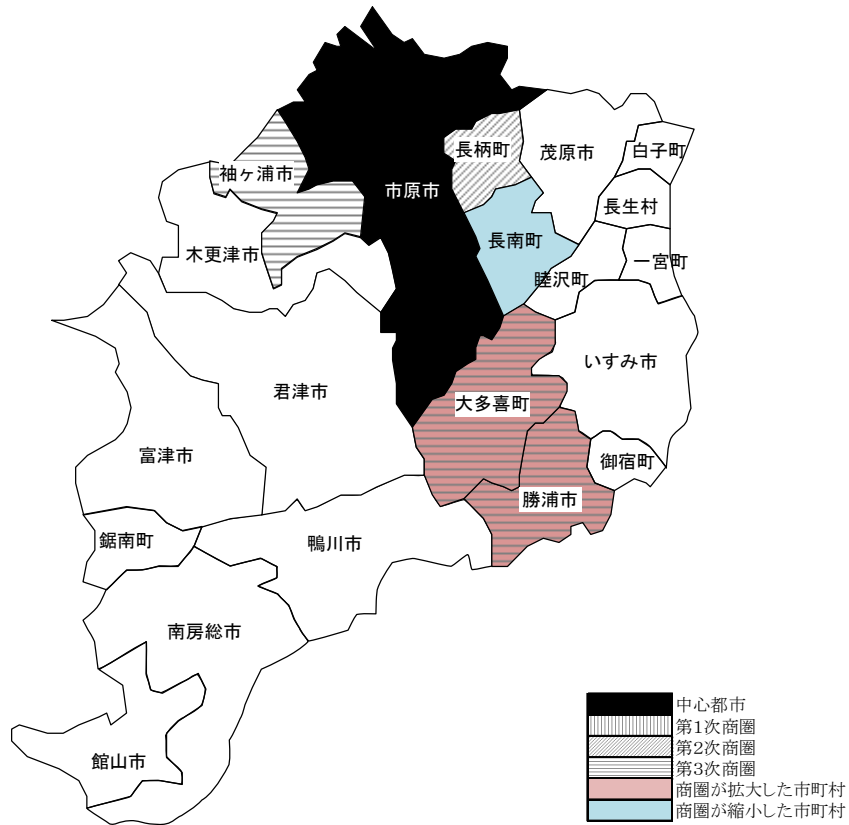
吸引人口は、前回調査時（234,952人）から10.3%減少して210,690人（市原市人口の75.5%）となった。

吸引力は、前回調査時（84.0%）から8.5ポイント減少して75.5%となった。

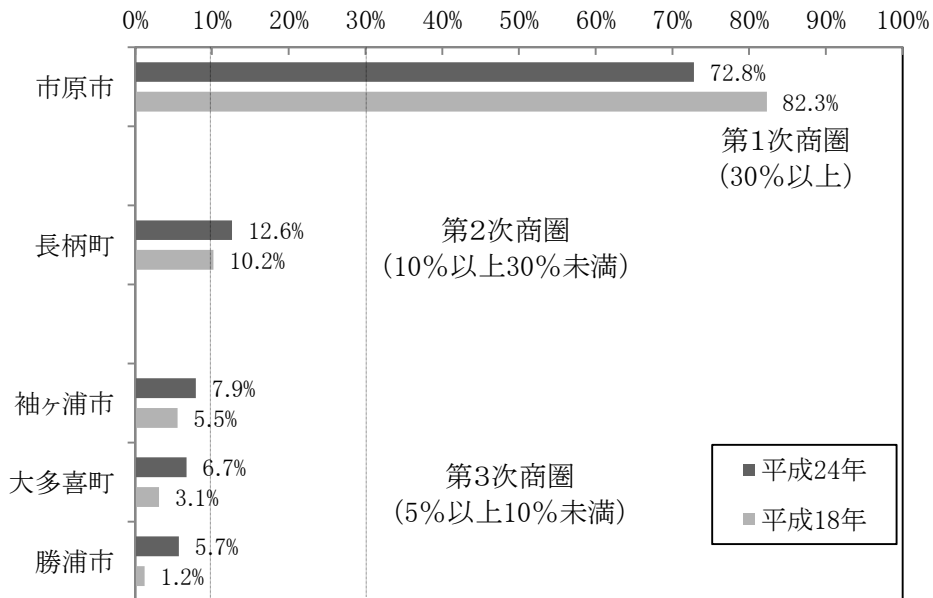
図表 72 市原商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	72.8%	278,962	203,084	計	1	82.3%
	市原市		72.8%	278,962	203,084	市原市		82.3%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	12.6%	7,832	987	計	1	10.2%
	長柄町		12.6%	7,832	987	長柄町		10.2%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	3	7.3%	90,964	6,619	計	2	5.6%
	袖ヶ浦市		7.9%	60,453	4,776	長南町		6.3%
	大多喜町		6.7%	10,402	697	新規		
	勝浦市		5.7%	20,109	1,146	新規		
合計		5	55.8%	377,758	210,690		4	65.8%

図表 73 市原商圏（衣料品）



図表 74 市原商圏の吸引状況（市町村別）



イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における市原商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 75 市原商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

	商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年				
		市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化		
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	1	90.8%		計	1	90.6%	
		市原市		90.8%		市原市		90.6%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	11.4%		計	1	19.1%	
		長柄町		11.4%		長柄町		19.1%	
食料品	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	5.7%		計	2	8.0%	
		袖ヶ浦市		5.7%		袖ヶ浦市		8.4%	
						長南町		5.7%	圏外へ
	合計		3	74.2%			4	73.0%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計	1	80.4%		計	1	87.6%	
		市原市		80.4%		市原市		87.6%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	12.4%		計	0		
		袖ヶ浦市		12.7%	新規				
飲食			長柄町	10.3%	第3次から				
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0			計	1	9.5%	
						長柄町		9.5%	第2次へ
	合計		3	67.0%			2	85.3%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	1	56.1%		計	1	71.6%	
		市原市		56.1%		市原市		71.6%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1			計	0		
		袖ヶ浦市		10.0%	第3次から				
贈答品	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	7.2%		計	2	6.8%	
		長柄町		9.3%		長柄町		9.7%	
		大多喜町		5.6%	新規	袖ヶ浦市		6.4%	第2次へ
	合計		4				3	59.0%	

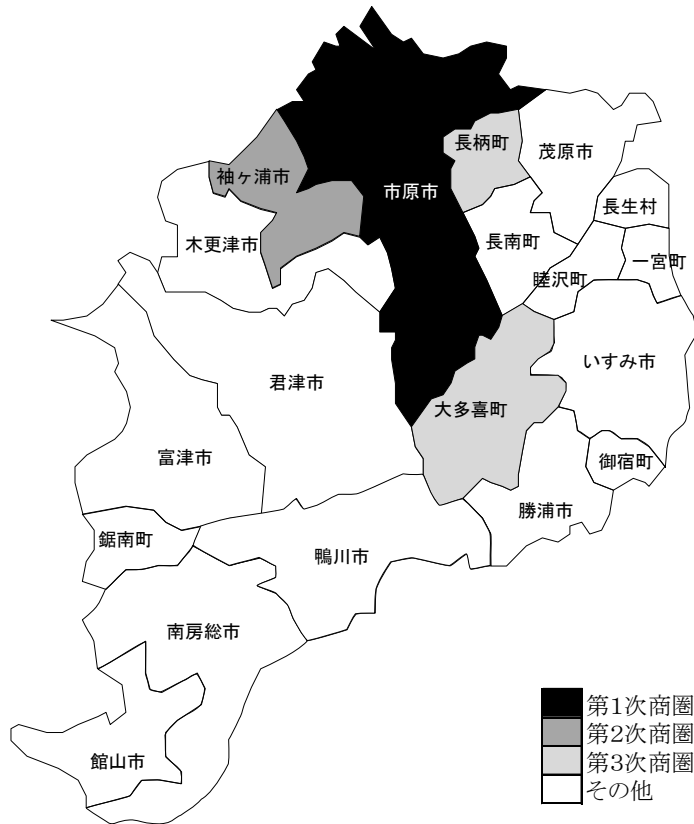
図表 76 市原商圏（食料品）



図表 77 市原商圏（飲食）



図表 78 市原商圏（贈答品）



(7) 八千代商圏（準商業中心都市）

ア 商圏の概要

八千代商圏は、千葉ブロックを中心に葛南ブロックの東部、印旛ブロックの南部を取り込んで形成されており、前回調査では3市であったが、新たに1市が加わり、4市となった。新たに商圏に加わったのは、船橋市で、5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査時と変わらず八千代市のみで、吸引率は83.8%となっている。

第2次商圏は、前回調査時と変わらず1市となった。（吸引率12.1%）

第3次商圏は、前回調査時では1市であったが、1市が新たに圏外から加わり、2市となった。（吸引率7.7%）

商圏人口は、前回調査時(1,283,947人)から50.9%増加して1,937,005人(八千代市人口の約10.2倍・県人口の31.3%)となった。

商圏内吸引率は、前回調査時(19.8%)から4.2ポイント減少して15.6%となった。

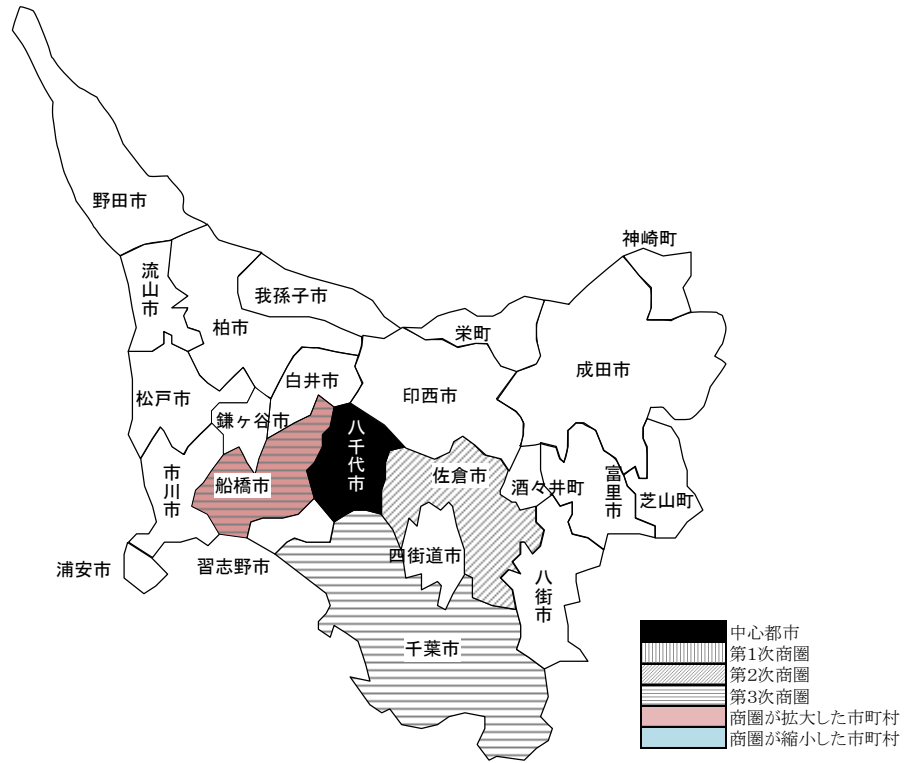
吸引人口は、前回調査時(254,500人)から18.6%増加して301,781人(八千代市人口の約1.6倍)となった。

吸引力は、前回調査時(139.7%)から19.4ポイント増加して159.1%となった。

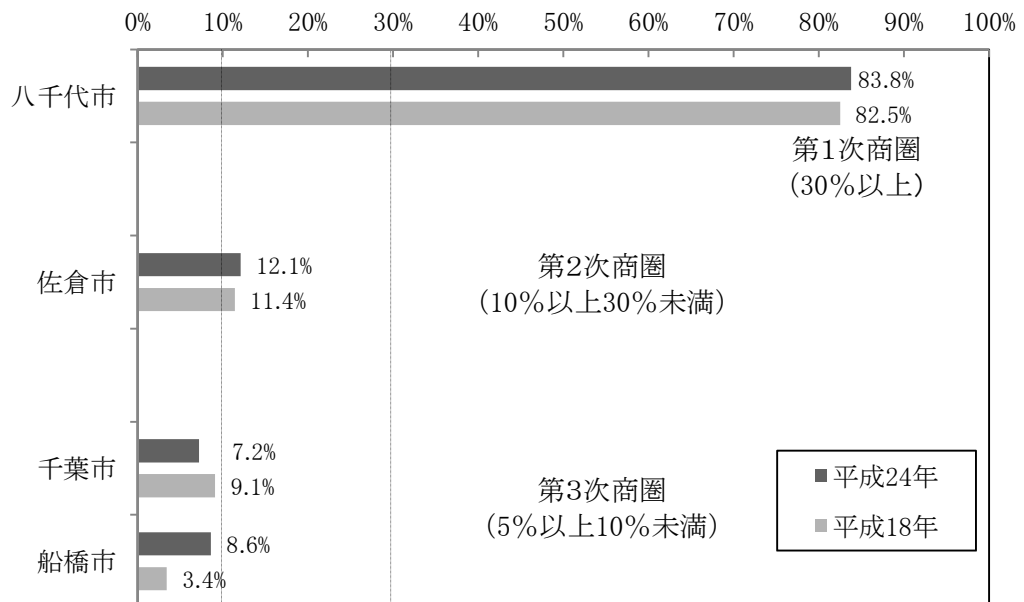
図表 79 八千代商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	83.8%	189,698	158,967	計	1	82.5%
	八千代市		83.8%	189,698	158,967	八千代市		82.5%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	12.1%	172,289	20,847	計	1	11.4%
	佐倉市		12.1%	172,289	20,847	佐倉市		11.4%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	7.7%	1,575,018	121,967	計	1	9.1%
	船橋市		8.6%	611,848	52,619	千葉市		9.1%
	千葉市		7.2%	963,170	69,348			
合計		4	15.6%	1,937,005	301,781		3	19.9%

図表 80 八千代商圏（衣料品）



図表 81 八千代商圏の吸引状況（市町村別）



イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における八千代商圏内の市町村の変化を以下に示す。

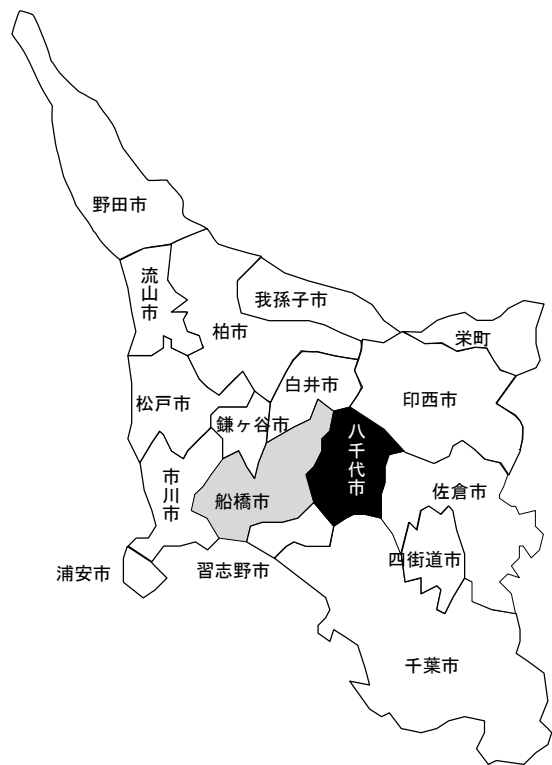
図表 82 八千代商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

	商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年		
		市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 八千代市	1 89.7%		計 八千代市	1 88.5%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0		計	0	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0		計 千葉市	1 6.1%	圏外へ
						6.1%	
	合計		1 89.7%			2 19.6%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 八千代市	1 85.0%		計 八千代市	1 89.9%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0		計	0	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 船橋市	1 5.5%	新規	計 千葉市	1 5.6%	圏外へ
			5.5%			5.6%	
	合計		2 24.3%			2 19.4%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 八千代市	1 69.8%		計 八千代市	1 63.8%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0		計	0	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 佐倉市 船橋市	2 7.2%	新規	計 佐倉市 千葉市	2 5.9%	圏外へ
			9.1%			8.8%	
			6.7%			5.4%	
合計		3 19.4%			3 14.1%		

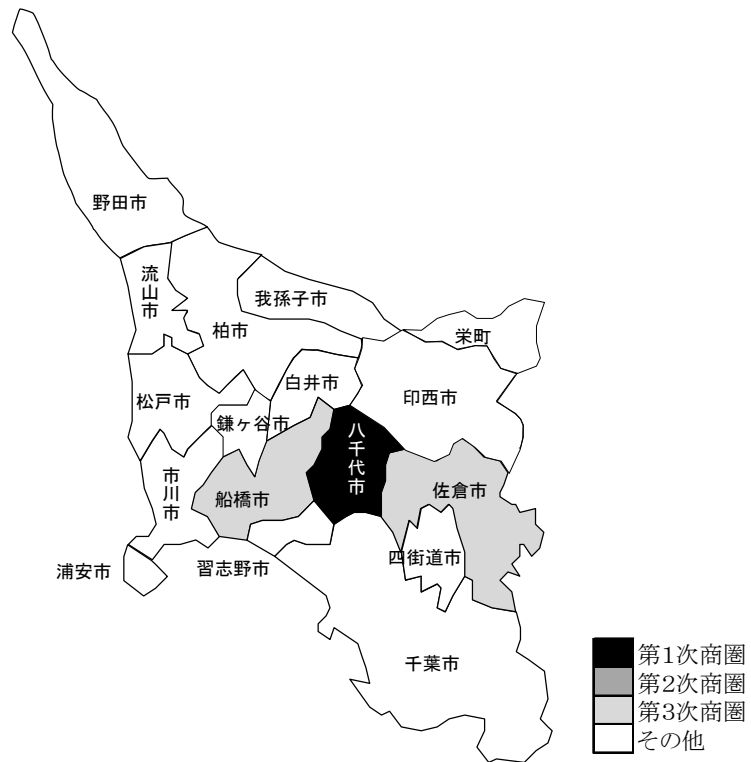
図表 83 八千代商圏（食料品）



図表 84 八千代商圏（飲食）



図表 85 八千代商圏（贈答品）



(8) 印西商圏（準商業中心都市）

ア 商圏の概要

印西商圏は、印旛ブロック西部に東葛ブロックの東部を取り込んで形成されており、前回調査時の2市1町2村のうち、印西市、印旛村及び本埜村が合併し、印西市となったため、2村減少したが、2市が加わり、4市1町となった。新たに商圏に加わったのは我孫子市及び佐倉市で、我孫子市からは10%以上、佐倉市からは5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査では2市2村であったが、印西市、印旛村及び本埜村が合併して印西市となったため、2村減少して2市となった。（吸引率 69.4%）

第2次商圏は、前回調査では該当する市町村がなかったが、1市が新たに圏外から入り、また1町が第3次商圏から入ったため、1市1町となった。

（吸引率 19.0%）

第3次商圏は、前回調査時の1町が第2次商圏に移動し、1市が新たに圏外から入り、1市となった。（吸引率 5.0%）

商圏人口は、前回調査時（159,612人）から約3倍となり、478,039人（印西市人口の約5.3倍）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（52.0%）から22.1ポイント減少して29.9%となった。

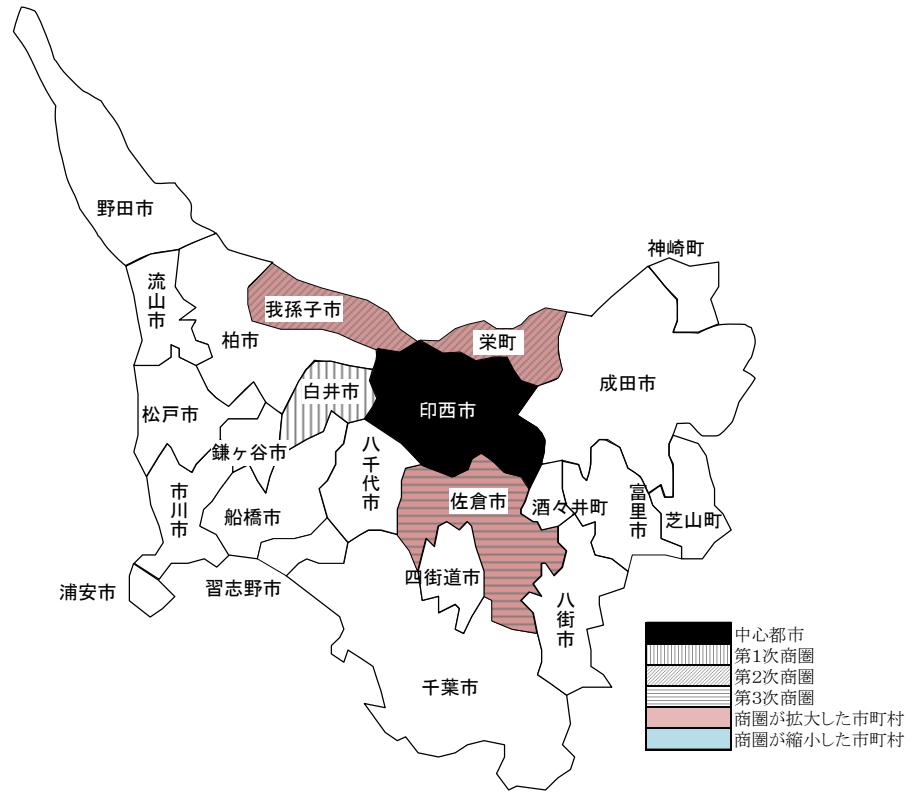
吸引人口は、前回調査時（83,030人）から72.0%増加して142,827人（印西市人口の約1.6倍）となった。

吸引力は、前回調査時（138.1%）から20.3ポイント増加して158.4%となった。

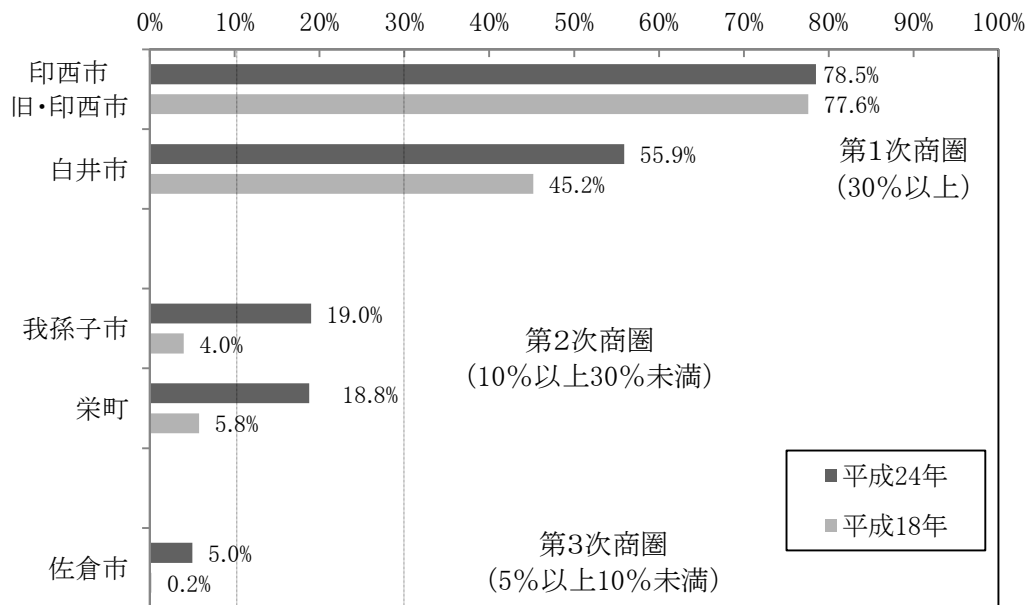
図表 86 印西商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	2	69.4%	151,179	104,888	計	4	60.2%
	印西市		78.5%	90,175	70,787	旧・印西市		77.6%
	白井市		55.9%	61,004	34,101	本埜村		72.1%
						白井市		45.2%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	19.0%	154,571	29,325	計	0	0.0%
	我孫子市		19.0%	132,730	25,219	印旛村		33.7%
	栄町		18.8%	21,841	4,106			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	5.0%	172,289	8,614	計	1	5.8%
	佐倉市		5.0%	172,289	8,614	栄町		5.8%
合計		5	29.9%	478,039	142,827		5	52.0%

図表 87 印西商圏（衣料品）



図表 88 印西商圏の市町村の変化（市町村別）



イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における印西商圏内の市町村の変化を以下に示す。

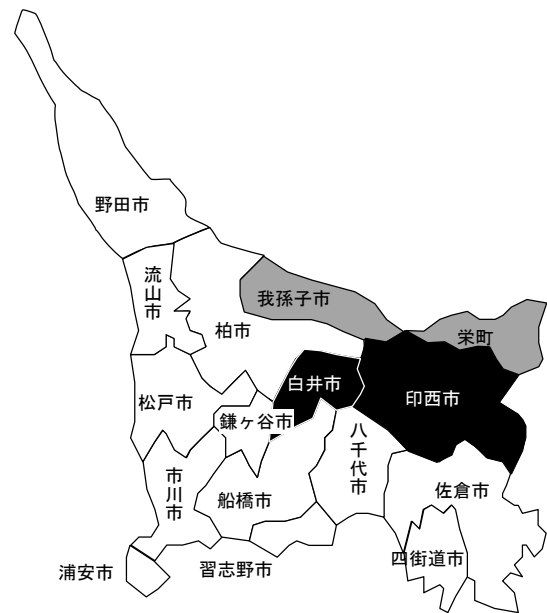
図表 89 印西商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	84.1%		計 2	88.2%
		印西市	84.1%		旧・印西市	90.3%
					本埜村	73.7%
						※現・印西市
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	18.8%		計 2	18.9%	
	白井市	18.8%		印旛村	21.6%	
				白井市	18.3%	
					※現・印西市	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 2	7.6%		計 0		
	栄町	8.5%	新規			
	我孫子市	7.5%	新規			
合計	4	32.4%		4	54.0%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 2	64.1%		計 4	60.3%
		印西市	78.7%		旧・印西市	89.1%
		白井市	42.5%		本埜村	81.6%
					印旛村	35.1%
					白井市	31.0%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	17.5%		計 0		
	栄町	17.7%	第3次から			
	我孫子市	17.5%	新規			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1	6.7%	
				栄町	6.7%	
					第2次へ	
合計	4	40.6%		5	52.3%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 2	50.9%		計 2	62.6%
		印西市	60.7%		旧・印西市	64.4%
		白井市	36.4%	第2次から	本埜村	50.4%
						※現・印西市
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	11.7%		計 2	24.0%	
	我孫子市	11.8%	新規	白井市	24.8%	
	栄町	10.8%	新規	印旛村	20.5%	
					第1次へ	
					※現・印西市	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 0		
合計	4	31.1%		4	43.6%	

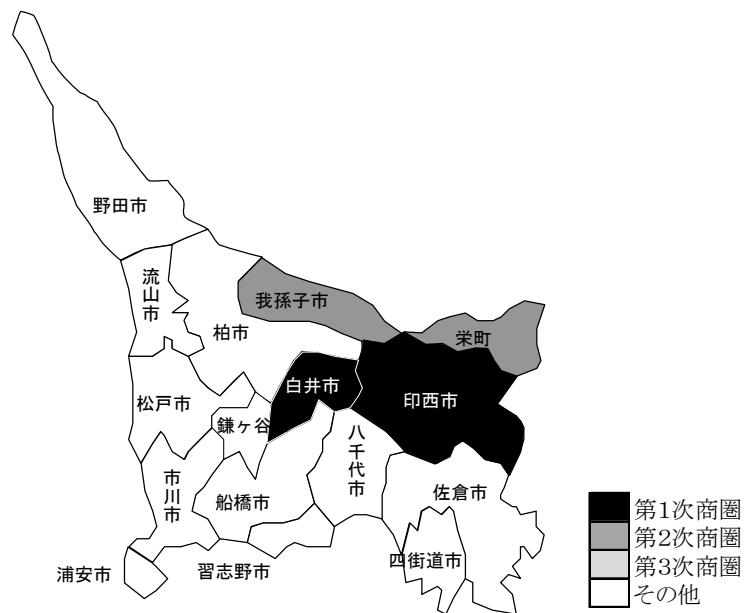
図表 90 印西商圏（食料品）



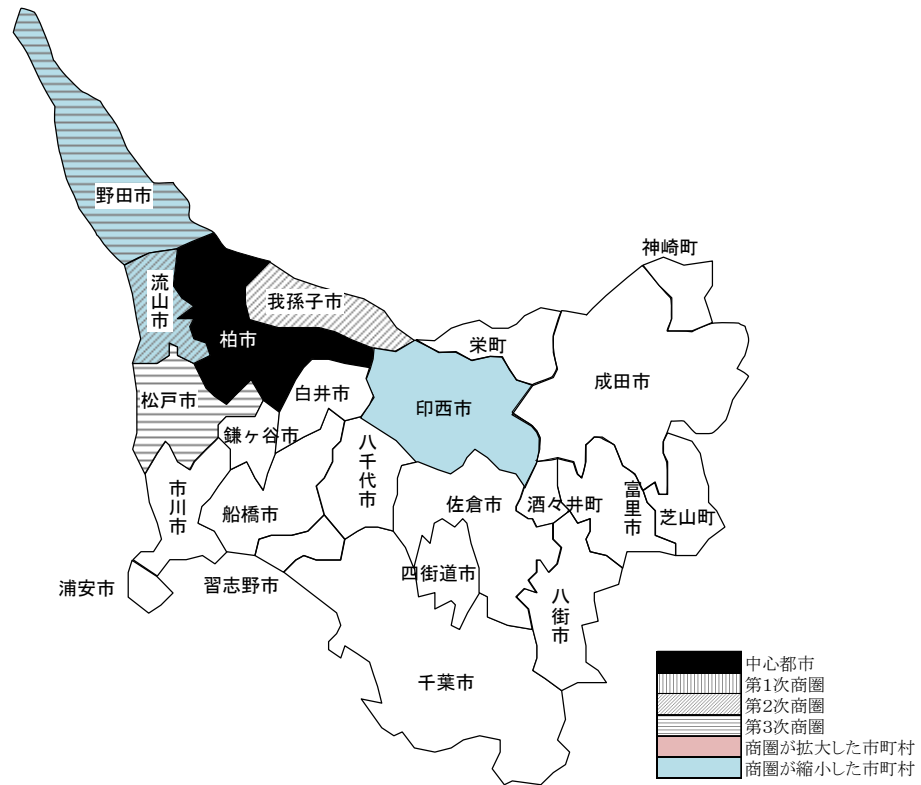
図表 91 印西商圏（飲食）



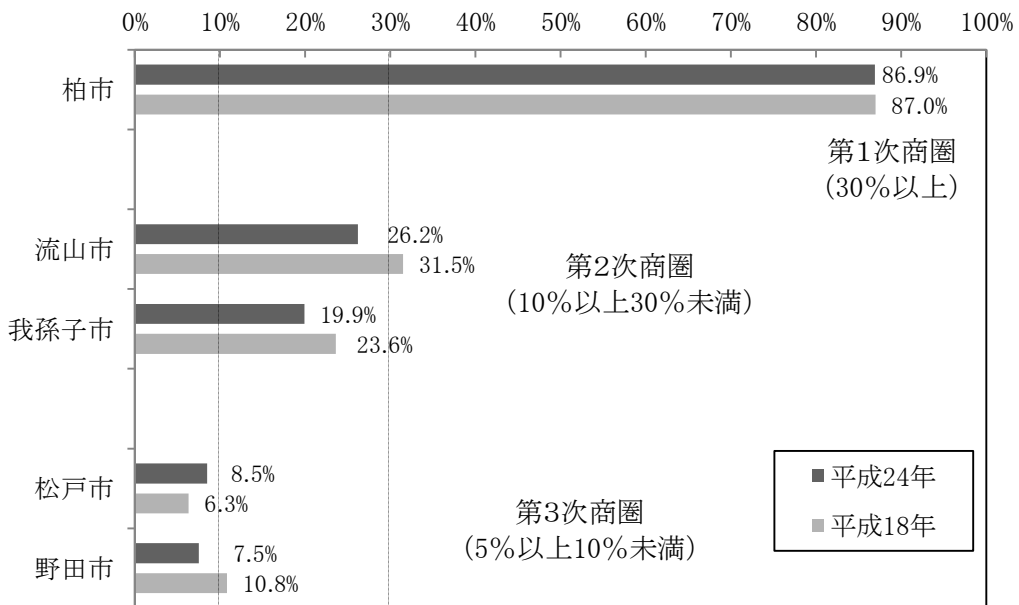
図表 92 印西商圏（贈答品）



図表 94 柏商圈（衣料品）



図表 95 柏商圈の吸引状況（市町村別）



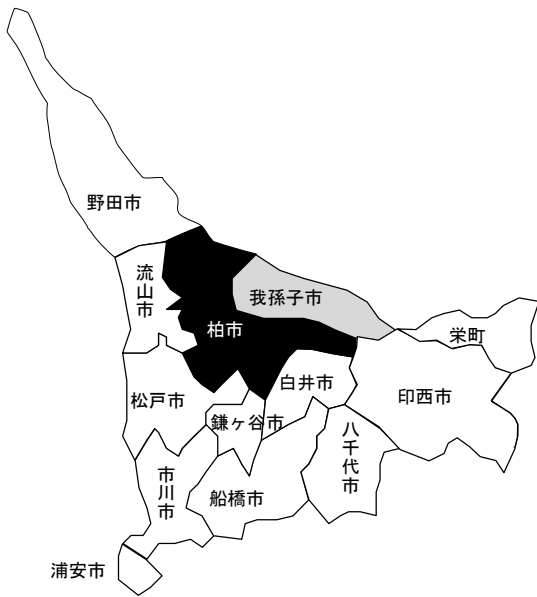
イ その他の品目における商圈内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における柏商圈内の市町村の変化を以下に示す。

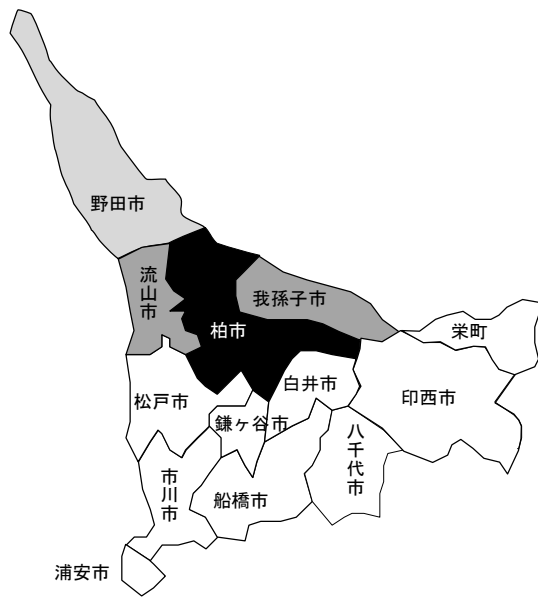
図表 96 柏商圈の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

	商圈 (基準吸引率)	平成24年			平成18年				
		市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化		
食料品	第1次商圈 (30%以上)	計	1	92.4%		計	1	91.0%	
		柏市		92.4%		柏市		91.0%	
	第2次商圈 (10%以上30%未満)	計	0			計	0		
食料品	第3次商圈 (5%以上10%未満)	計	1	5.1%		計	1	7.1%	
		我孫子市		5.1%	新規	流山市		7.1%	圏外へ
	合計		2	70.8%			2	66.9%	
飲食	第1次商圈 (30%以上)	計	1	93.6%		計	1	94.5%	
		柏市		93.6%		柏市		94.5%	
	第2次商圈 (10%以上30%未満)	計	2	22.7%		計	2	22.0%	
		流山市		26.2%		流山市		22.3%	
	我孫子市		18.3%		我孫子市		21.7%		
飲食	第3次商圈 (5%以上10%未満)	計	1	7.0%		計	1	6.5%	
		野田市		7.0%		野田市		6.5%	
合計		4	53.2%			4	53.0%		
贈答品	第1次商圈 (30%以上)	計	3	71.6%		計	3	77.7%	
		柏市		88.5%		柏市		91.2%	
		流山市		53.0%		流山市		56.7%	
		我孫子市		43.7%		我孫子市		63.0%	
	第2次商圈 (10%以上30%未満)	計	3	14.0%		計	3	22.5%	
		野田市		21.0%		野田市		28.6%	
		松戸市		12.2%	第3次から	白井市		17.1%	
		白井市		10.0%		印西市		12.0%	第3次へ
	第3次商圈 (5%以上10%未満)	計	1	6.3%		計	2	9.8%	
		印西市		6.3%	第2次から	松戸市		9.9%	第2次へ
					本埜村		6.8%	※現・印西市	
合計		7	40.7%			8	44.3%		

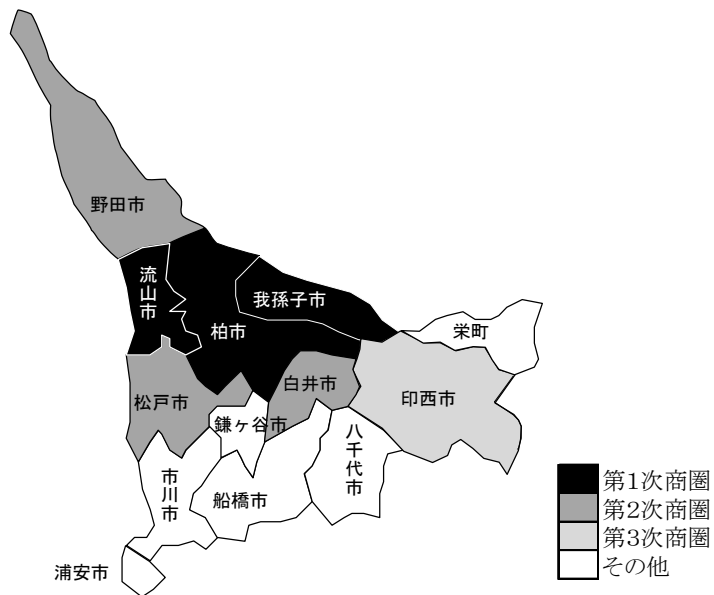
図表 97 柏商圈（食料品）



図表 98 柏商圈（飲食）



図表 99 柏商圈（贈答品）



(10) 銚子商圏（準商業中心都市）

ア 商圏の概要

銚子商圏は、海匝ブロック中心に香取ブロックの東部を取り込んだ県北東部に形成されており、前回調査では単独商圏であったが、今回、準商業都市として第1次・第2次商圏を形成している。新たに商圏に加わったのは東庄町及び旭市で、それぞれ10%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査と同様に銚子市のみで吸引率は75.5%となっている。

第2次商圏は、前は該当なしであったが、新たに1市1町が圏外から入り、吸引率は14.5%となっている。

第3次商圏に該当する市町村はない。

商圏人口は、前回調査時（73,864人）から約2.0倍となり150,856人（銚子市人口の約2.2倍）となった。

商圏内吸引率を見ると、前回調査時の単独商圏都市としての銚子市の地元購買率は61.5%から75.5%に増加したが、第2次商圏の吸引率が14.5%であるため、61.5%から19.6ポイント減少して41.9%となった。

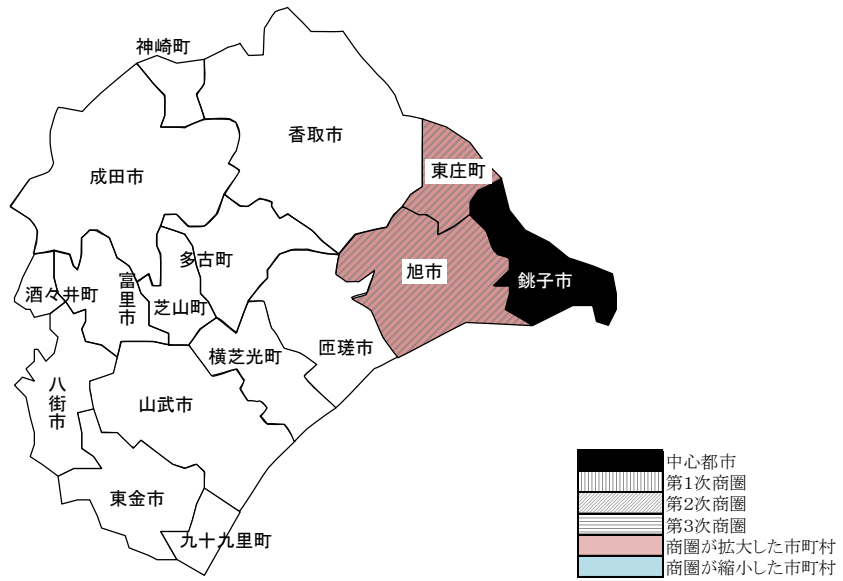
吸引人口は、前回調査時（45,426人）から39.2%増加して63,242人（銚子市人口の93.2%）となった。

吸引力は、前回調査時（61.5%）から31.7ポイント増加して93.2%となった。

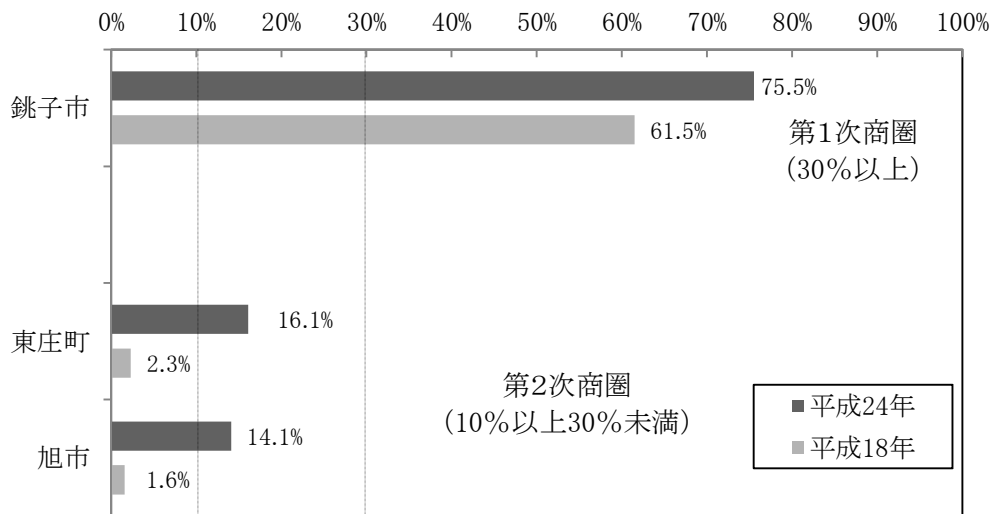
図表 100 銚子商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	75.5%	67,875	51,246			
		銚子市	75.5%	67,875	51,246			
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	14.5%	82,981	11,996			
		東庄町	16.1%	14,803	2,383	新規		
		旭市	14.1%	68,178	9,613	新規		
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0						
合計		3	41.9%	150,856	63,242			
		計	1	61.5%				
		銚子市	61.5%					
		計	0					
		計	0					
		計	1	61.5%				

図表 101 銚子商圏（衣料品）



図表 102 銚子商圏の吸引状況（市町村別）



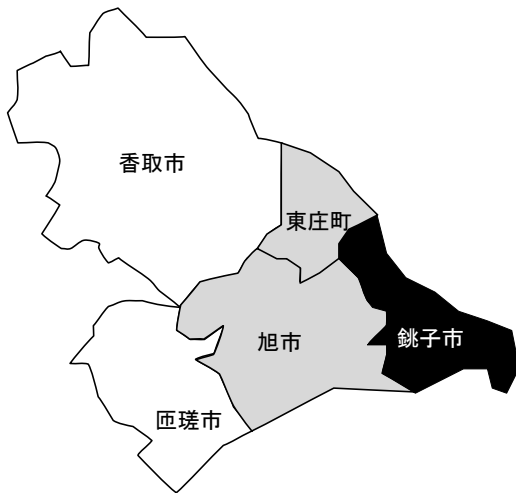
イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における銚子商圏内の市町村の変化を以下に示す。

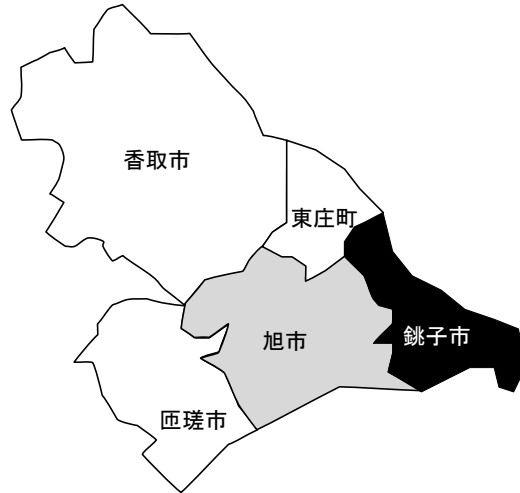
図表 103 銚子商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

	商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年				
		市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化		
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	1	89.3%		計	1	90.4%	
		銚子市		89.3%		銚子市		90.4%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0			計	0		
飲食	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	6.4%		計	0		
		旭市		6.5%	新規				
		東庄町		5.7%	新規				
	合計		3	43.7%			1	90.4%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	1	81.1%		計	1	79.5%	
		銚子市		81.1%		銚子市		79.5%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0			計	0		
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	5.2%		計	0		
		旭市		5.2%	新規				
	合計		2	43.1%			1	79.5%	
		第1次商圏 (30%以上)	計	1	80.6%		計	1	60.4%
		銚子市		80.6%		銚子市		60.4%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)		計	1	13.2%		計	0		
		東庄町		13.2%	新規				
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	9.0%		計	0		
		旭市		9.0%	新規				
	合計		3	41.6%			1	60.4%	

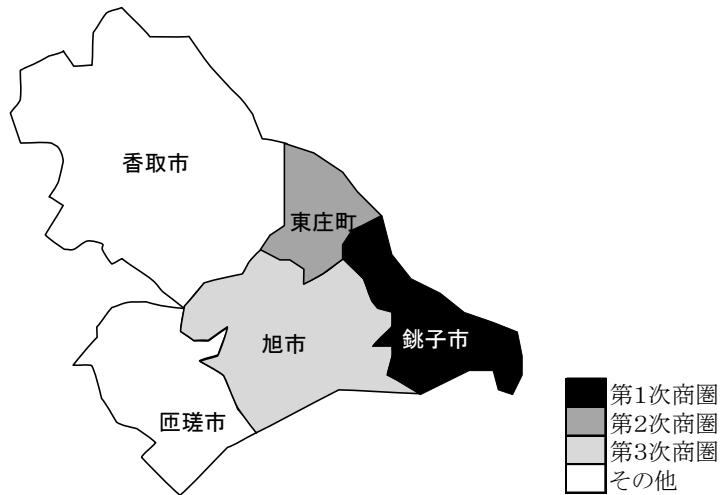
図表 104 銚子商圏（食料品）



図表 105 銚子商圏（飲食）



図表 106 銚子商圏（贈答品）



(11) 旭商圈（準商業中心都市）

ア 商圈の概要

旭商圈は、銚子商圈に隣接して、海匝ブロック一帯に香取ブロックの東部を取り込んだ県北東部に形成されており、前回調査では4市1町であったが、2市減少して、2市1町となった。

第1次商圈は、前回調査と同様に旭市のみで、吸引率は63.0%となっている。

第2次商圈は、前回調査時の2市1町から1市が圏外へ外れたため、1市1町となった。（吸引率14.1%）

第3次商圈は、前回調査時の1市が圏外へ外れたため、該当する市町村はなくなった。

商圈人口は、前回調査時（288,502人）から57.7%減少して122,071人（旭市人口の約1.8倍）となった。

商圈内吸引率は、前回調査時（29.6%）から11.8ポイント増加して41.4%となった。

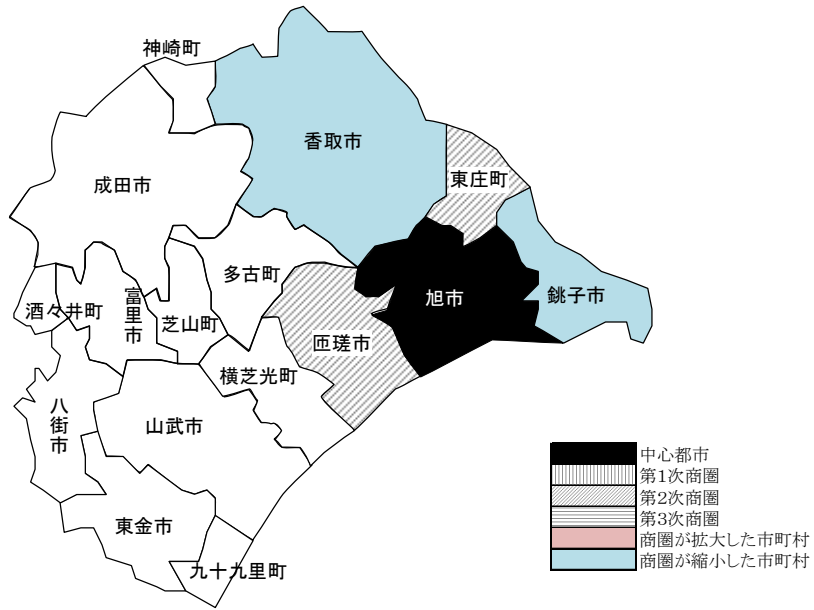
吸引人口は、前回調査時（85,486人）から40.9%減少して50,542人（旭市人口の74.1%）となった。

吸引力は、前回調査時（121.3%）から47.2ポイント減少して74.1%となった。

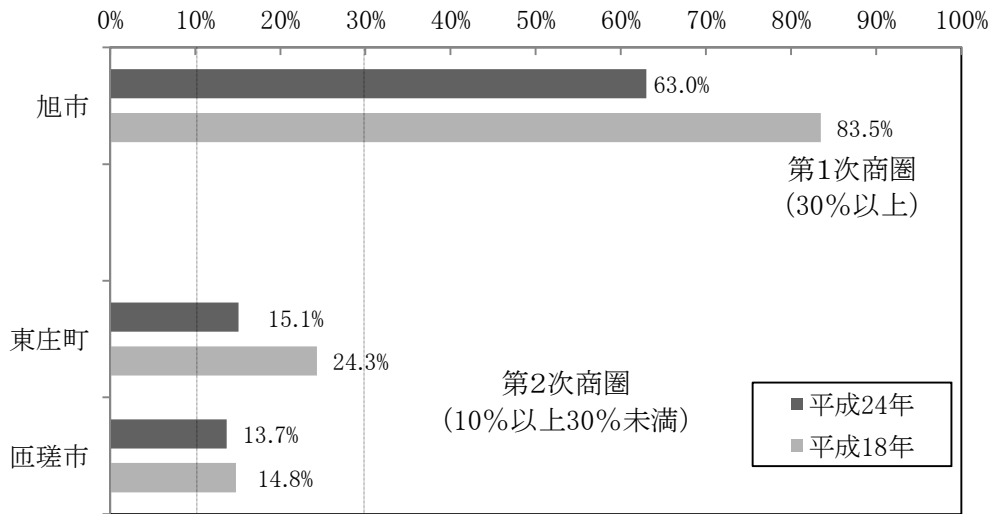
図表 107 旭商圈の市町村別吸引率・商圈人口・吸引人口

商圈 (基準吸引率)	平成24年					平成18年			
	市町村	市町村 吸引率	商圈人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
									市町村
第1次商圈 (30%以上)	計	1	63.0%	68,178	42,952	計	1	83.5%	
	旭市		63.0%	68,178	42,952	旭市		83.5%	
第2次商圈 (10%以上30%未満)	計	2	14.1%	53,893	7,590	計	3	16.5%	
	東庄町		15.1%	14,803	2,235	東庄町		24.3%	
	匝瑳市		13.7%	39,090	5,355	銚子市		15.8%	圏外へ
第3次商圈 (5%以上10%未満)	計	0				計	1	5.7%	
						香取市		5.7%	圏外へ
合計		3	41.4%	122,071	50,542		5	29.6%	

図表 108 旭商圈（衣料品）



図表 109 旭商圈の吸引状況（市町村別）



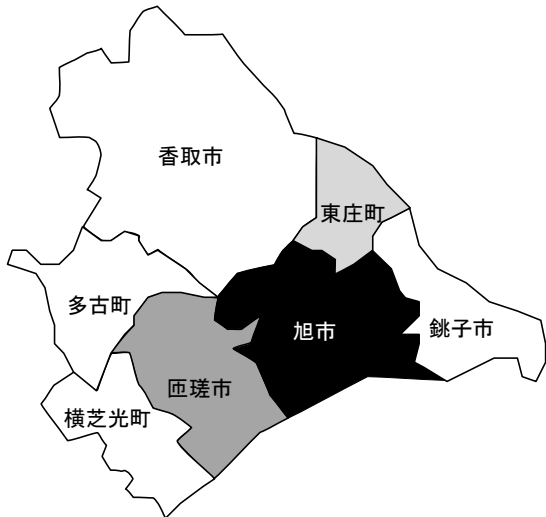
イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における旭商圏内の市町村の変化を以下に示す。

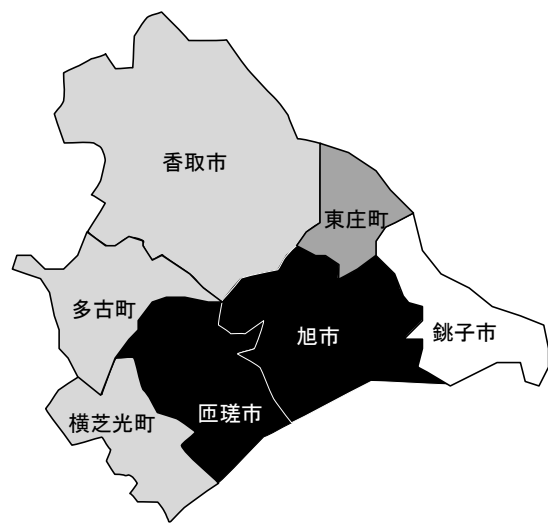
図表 110 旭商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年			
	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	90.0%		計 1	98.2%	
		旭市	90.0%		旭市	98.2%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	15.8%		計 0		
		匝瑳市	15.8%	第3次から			
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	9.8%		計 2	8.5%	
	東庄町	9.8%		東庄町	9.4%		
				匝瑳市	8.2%	第2次へ	
合計	3	56.5%		3	57.8%		
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 2			計 1	93.4%	
		旭市	87.7%		旭市	93.4%	
		匝瑳市	30.6%	第2次から			
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1			計 2	15.1%	
		東庄町	20.6%		東庄町	20.7%	
					匝瑳市	12.9%	第1次へ
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 3			計 2	7.6%	
	横芝光町	7.2%	新規	香取市	6.5%		
	多古町	5.9%	新規	銚子市	8.8%	圏外へ	
	香取市	5.0%					
合計	6	33.6%		5	30.0%		
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	72.9%		計 1	87.2%	
		旭市	72.9%		旭市	87.2%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	22.4%		計 3	17.8%	
		東庄町	24.2%		東庄町	21.8%	
		匝瑳市	21.7%		銚子市	17.4%	圏外へ
				匝瑳市	17.0%		
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 0			
合計	3	50.6%		4	42.0%		

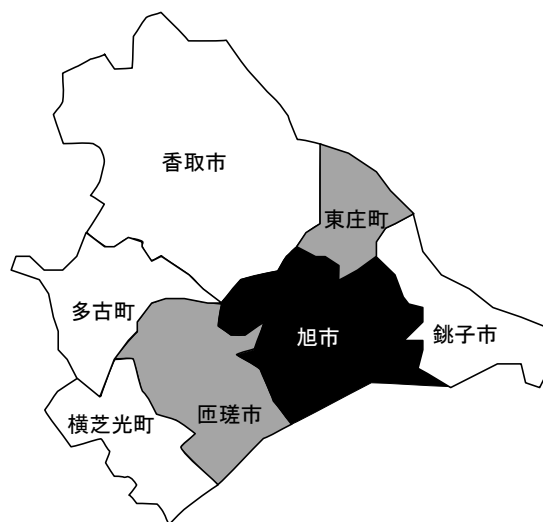
図表 111 旭商圈（食料品）



図表 112 旭商圈（飲食）



図表 113 旭商圈（贈答品）



- 第1次商圈
- 第2次商圈
- 第3次商圈
- その他

(12) 東金商圏（準商業中心都市）

ア 商圏の概要

東金商圏は、山武ブロック一帯に長生ブロック北部を取り込んだ県中東部に形成されており、前回調査では2市3町であったが、1町が新たに加わり2市4町となった。新たに商圏に加わったのは、白子町で5%以上を吸引している。

第1次商圏は、前回調査時の1市1町に第2次商圏から1市が加わって2市1町となった。（吸引率 60.6%）

第2次商圏は、前回調査時の1市が第1次商圏に移動し、1町が第3次商圏から入ったため、1町となった。（吸引率 10.9%）

第3次商圏は、前回調査時の2町のうち、1町が第2次商圏に移動し、1町が圏外から新たに入ったため、数としては変わらず2町となった。（吸引率 5.8%）

商圏人口は、前回調査時（214,395人）から2.5%増加して219,654人（東金市人口の約3.6倍）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（38.2%）から2.1ポイント増加して40.3%となった。

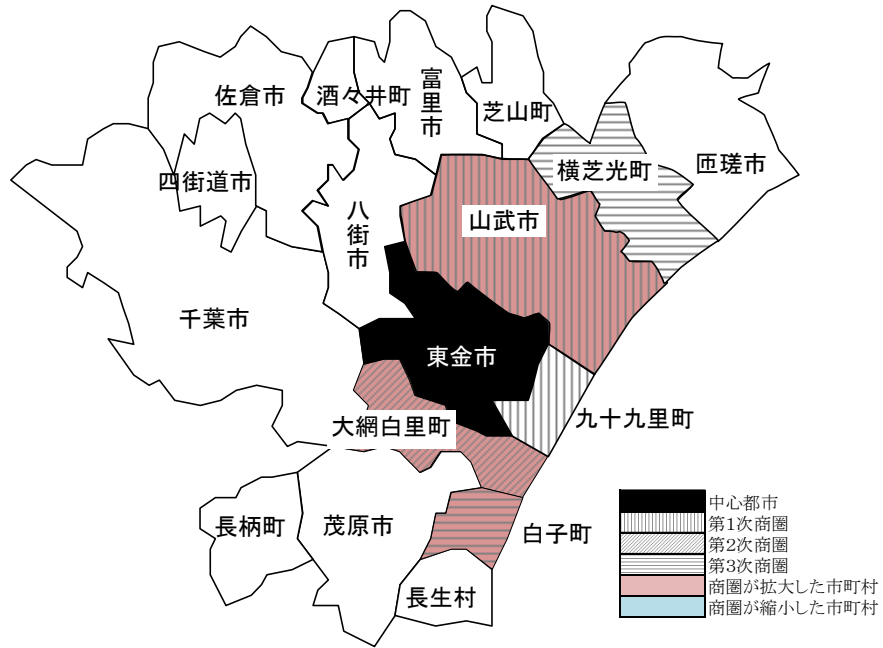
吸引人口は、前回調査時（81,935人）から8.0%増加して88,450人（東金市人口の約1.4倍）となった。

吸引力は、前回調査時（132.8%）から11.4ポイント増加して144.2%となった。

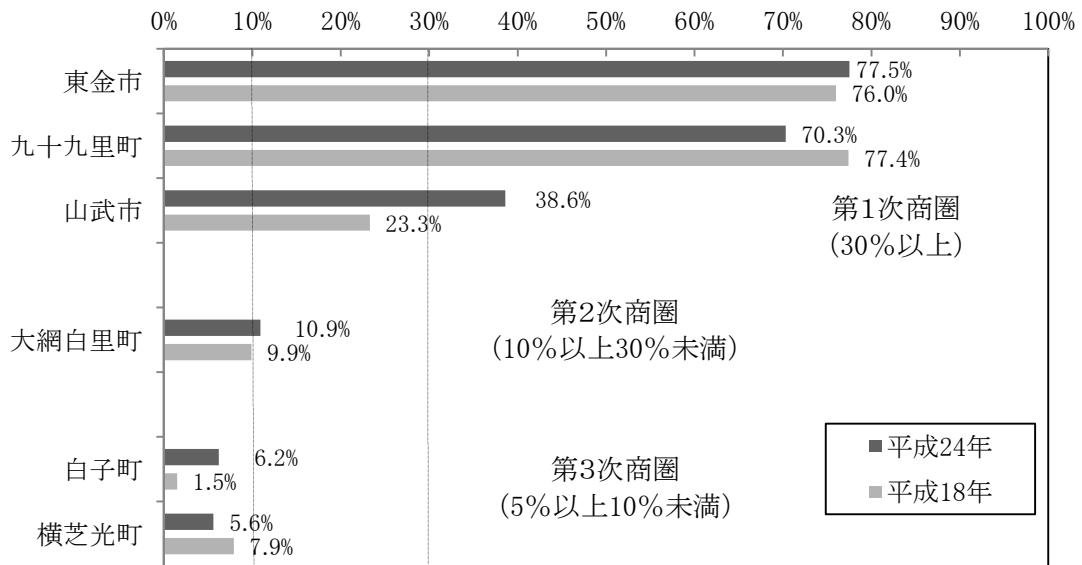
図表 114 東金商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	3	60.6%	133,525	80,904	計	2	76.3%
	東金市		77.5%	61,337	47,536	東金市		76.0%
	九十九里町		70.3%	17,362	12,205	九十九里町		77.4%
	山武市		38.6%	54,826	21,163			
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	10.9%	50,045	5,455	計	1	23.3%
	大網白里町		10.9%	50,045	5,455	山武市		23.3%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	5.8%	36,084	2,091	計	2	9.2%
	白子町		6.2%	11,798	731	大網白里町		9.9%
	横芝光町		5.6%	24,286	1,360	横芝光町		7.9%
合計		6	40.3%	219,654	88,450		5	38.2%

図表 115 東金商圏（衣料品）



図表 116 東金商圏の吸引状況（市町村別）



イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における東金商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 117 東金商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食 料 品	第1次商圏 (30%以上)	計	2 83.4%	第2次から	計	1 92.1%
		東金市	95.7%		東金市	92.1%
		九十九里町	39.9%			
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1 19.7%	第3次から	計	1 21.2%
		山武市	19.7%		九十九里町	21.2%
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2 7.7%	新規	計	2 5.7%
大網白里町		8.2%	大網白里町		6.0%	
	白子町	5.6%	山武市	5.4%	第2次へ	
合計		5 41.6%		4 35.5%		
飲 食	第1次商圏 (30%以上)	計	3 73.6%		計	3 68.2%
		東金市	90.8%		東金市	89.4%
		九十九里町	84.2%		九十九里町	86.7%
		山武市	50.9%		山武市	39.9%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2 21.1%		計	2 16.1%
		大網白里町	25.6%		大網白里町	17.9%
	横芝光町	11.8%		横芝光町	12.5%	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1 6.0%	新規	計	0	
合計		6 42.2%		5 49.8%		
贈 答 品	第1次商圏 (30%以上)	計	3 54.9%		計	3 53.7%
		東金市	70.1%		東金市	68.2%
		九十九里町	65.1%		九十九里町	75.7%
		山武市	34.6%		山武市	31.5%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1 10.1%		計	1 12.6%
		大網白里町	10.1%		大網白里町	12.6%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0		計	1 7.9%	
				横芝光町	7.9%	圏外へ
合計		4 42.7%		5 38.7%		

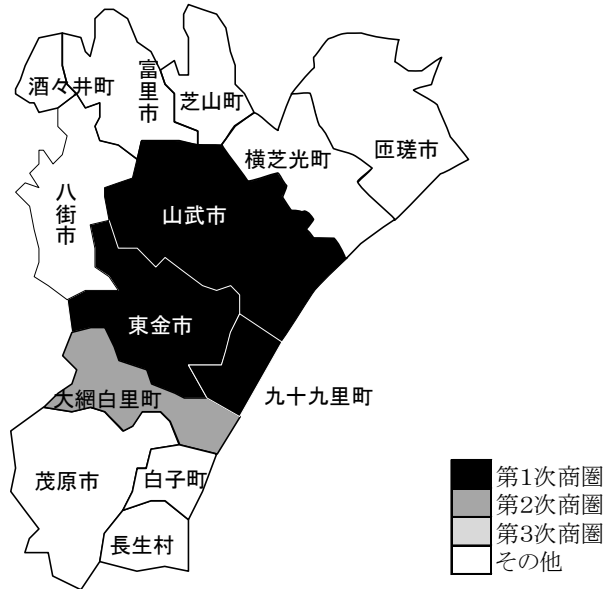
図表 118 東金商圏（食料品）



図表 119 東金商圏（飲食）



図表 120 東金商圏（贈答品）



(13) 木更津商圏（準商業中心都市）

ア 商圏の概要

木更津商圏は、君津ブロック一帯に安房ブロック北部を取り込んで形成されており、前回調査と同様に5市となった。

第1次商圏は、前回調査では2市であったが、第2次商圏から1市が加わり3市となった。（吸引率 58.0%）

第2次商圏は、前回調査時の1市が第1次商圏に移動したため、該当する市町村はなくなった。

第3次商圏は、前回調査と同様に2市からなり、吸引率は7.8%となっている。

商圏人口は、前回調査時（357,998人）から17.2%増加して361,541人（木更津市人口の約2.8倍）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（44.7%）から1.9ポイント増加して46.6%となった。

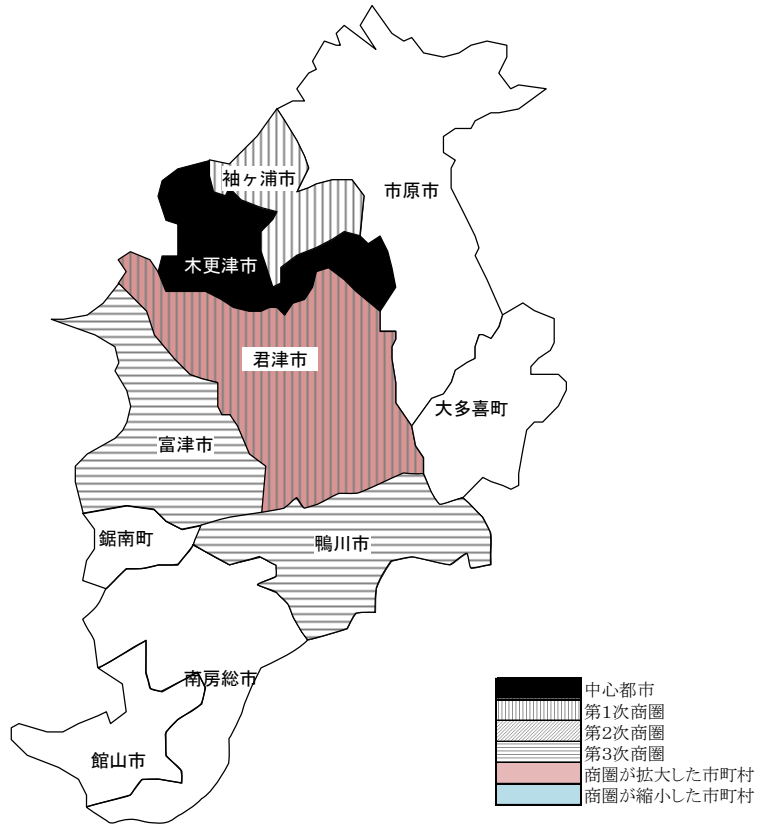
吸引人口は、前回調査時（160,148人）から5.2%増加して168,423人（木更津市人口の約1.3倍）となった。

吸引力は、前回調査時（130.5%）から1.4ポイント増加して129.1%となった。

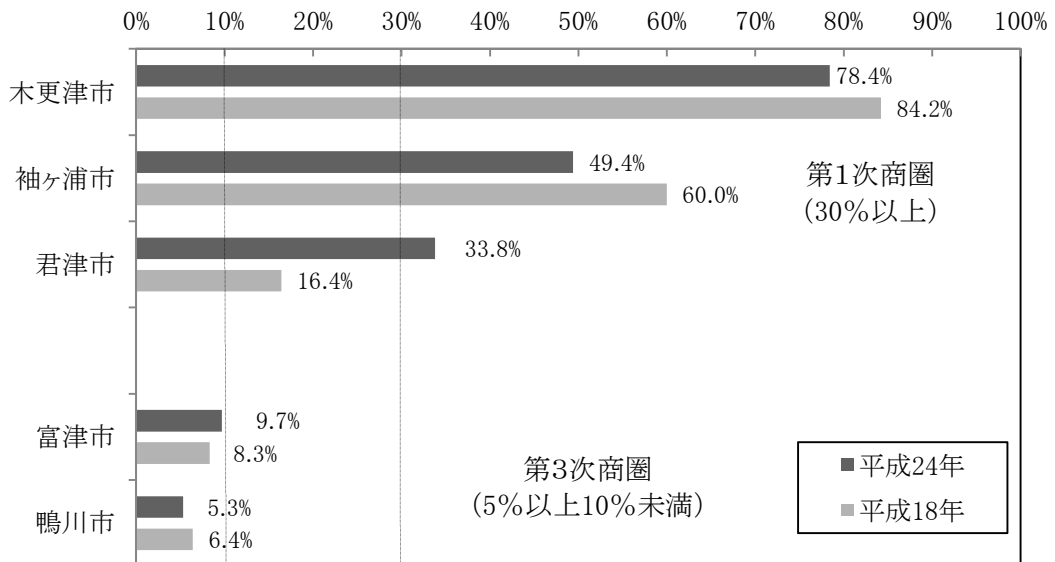
図表 121 木更津商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成24年					平成18年		
	市町村	市町村 吸引率	商圏人口	吸引人口	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	3	58.0%	279,253	161,985	計	2	76.3%
	木更津市		78.4%	130,418	102,248	木更津市		84.2%
	袖ヶ浦市		49.4%	60,453	29,864	袖ヶ浦市		60.0%
	君津市		33.8%	88,382	29,873			
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0		0	0	計	1	16.4%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	7.8%	82,288	6,438	君津市		16.4%
	富津市		9.7%	47,209	4,579	富津市		8.3%
	鴨川市		5.3%	35,079	1,859	鴨川市		6.4%
合計		5	46.6%	361,541	168,423		5	44.7%

図表 122 木更津商圏（衣料品）



図表 123 木更津商圏の吸引状況（市町村別）



イ その他の品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における木更津商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表 124 木更津商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成24年			平成18年			
	市町村	市町村 吸引率	前回調査からの 区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	90.2%		計 1	92.0%	
		木更津市	90.2%		木更津市	92.0%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	17.1%		計 1	13.8%	
		袖ヶ浦市	17.9%		袖ヶ浦市	13.8%	
		君津市	16.6%	第3次から			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	5.3%		計 1	5.5%		
	富津市	5.3%	新規	君津市	5.5%	第2次へ	
合計	4	44.6%		3	46.3%		
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 3	64.0%		計 2	71.2%	
		木更津市	85.8%		木更津市	85.9%	
		袖ヶ浦市	48.7%		袖ヶ浦市	40.8%	
		君津市	42.3%	第3次から			
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	13.2%		計 0		
	富津市	13.2%	第3次から				
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	5.3%		計 3	8.0%		
	鴨川市	5.3%		鴨川市	6.5%		
				君津市	9.9%	第1次へ	
				富津市	5.5%	第2次へ	
合計	5	51.7%		5	40.1%		
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 3	52.8%		計 2	65.4%	
		木更津市	70.4%		木更津市	73.9%	
		袖ヶ浦市	41.5%		袖ヶ浦市	47.7%	
		君津市	34.5%	第2次から			
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	12.3%		計 1	18.5%	
	富津市	12.3%	第3次から	君津市	18.5%	第1次へ	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1	8.7%		
				富津市	8.7%	第2次へ	
合計	4	46.9%		4	43.5%		

図表 125 木更津商圏（食料品）



図表 126 木更津商圏（飲食）



図表 127 木更津商圏（贈答品）

